

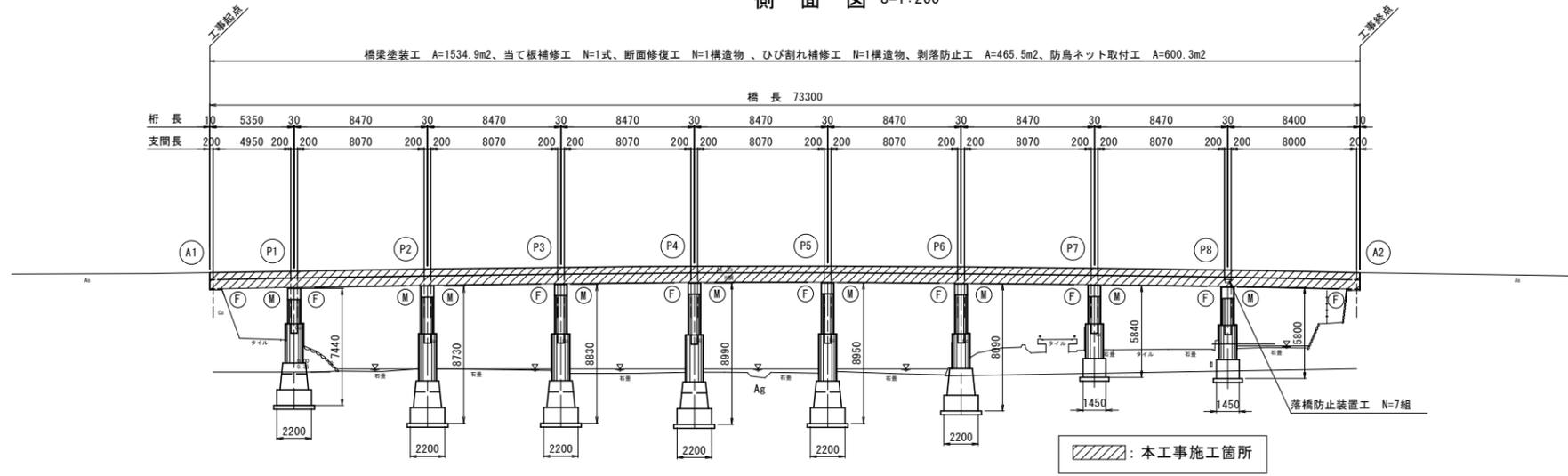
図 面 目 録

三条大橋補修工事（その4）

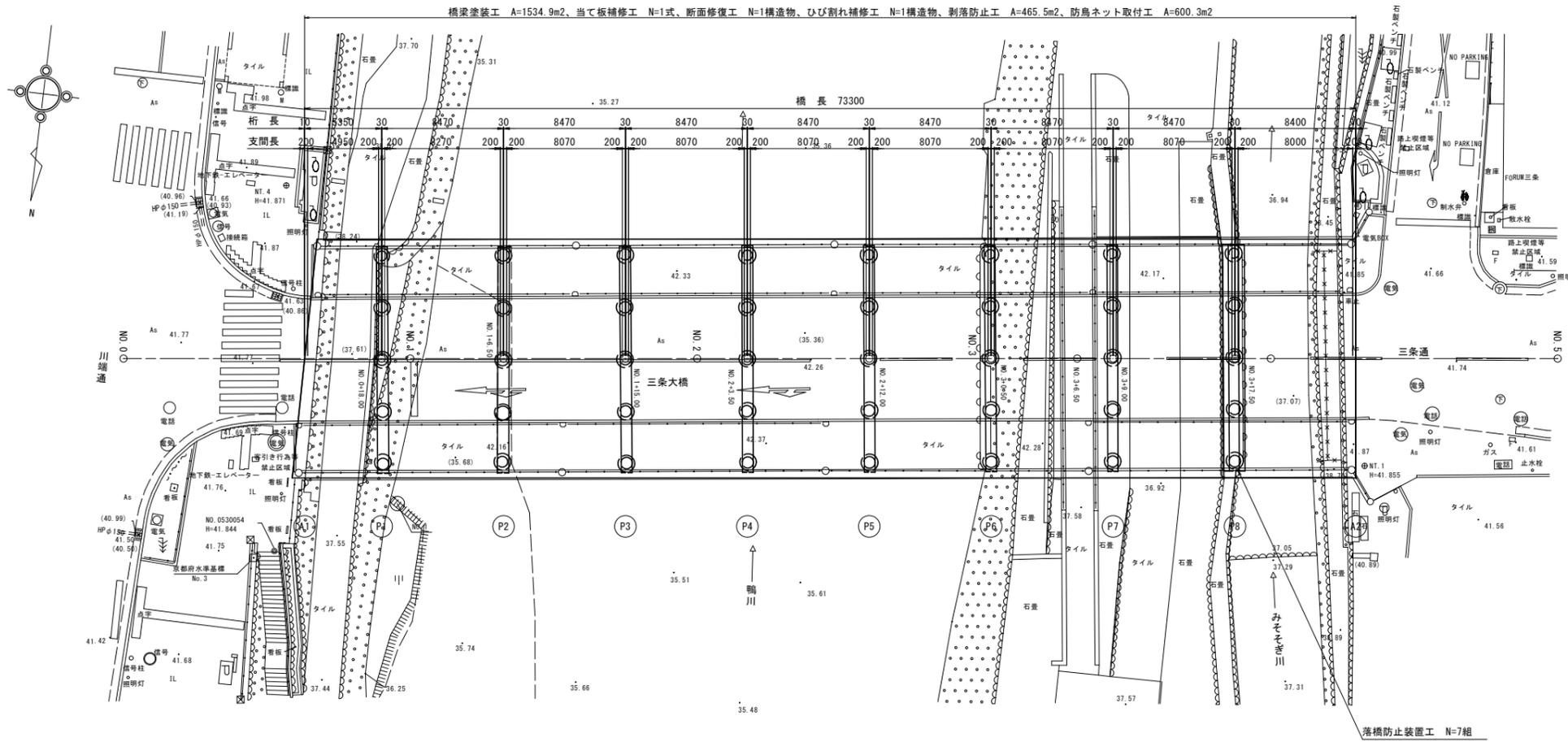
図面番号	図面名称
1 / 21	三条大橋 補修・補強一般図
2 / 21	1径間 床版 補修図
3 / 21	2径間 床版 補修図
4 / 21	3径間 床版 補修図
5 / 21	4径間 床版 補修図
6 / 21	5径間 床版 補修図
7 / 21	6径間 床版 補修図
8 / 21	7径間 床版 補修図
9 / 21	8径間 床版 補修図
10 / 21	9径間 床版 補修図
11 / 21	補修工法（断面修復工及びひび割れ補修工）概要図
12 / 21	当て板補修図（その1）
13 / 21	当て板補修図（その2）
14 / 21	剥落防止工図
15 / 21	防鳥ネット取付図
16 / 21	橋梁塗装工図（その1）
17 / 21	橋梁塗装工図（その2）
18 / 21	落橋防止装置工詳細図
19 / 21	桁下パネル撤去図
20 / 21	桁下パネル詳細図
21 / 21	<参考図>三条大橋 足場工図

三条大橋 補修・補強一般図

側面図 S=1:200



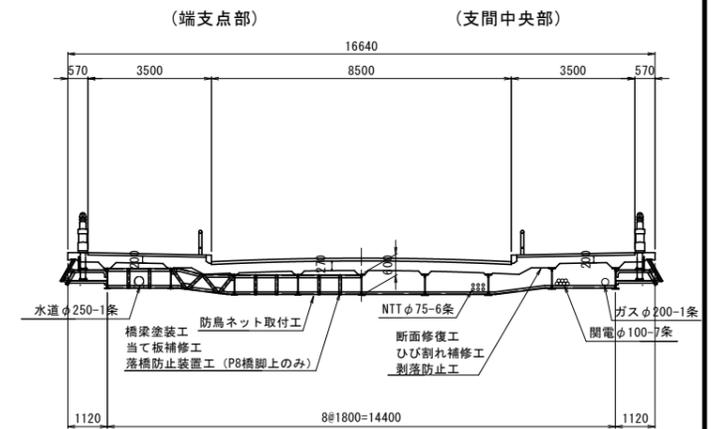
平面図 S=1:200



橋梁諸元

路線名	市道三条通
河川名	一級河川 鴨川
橋名	三条大橋
橋長	73.300m
桁長	5.350m+7×8.470m+8.400m
支間長	4.950m+7×8.070m+8.000m
有効幅員	3.500m+8.500m+3.500m
添架物	NTTケーブルφ75×6条、開電φ100×7条 大阪ガスφ200、水道φ250
架設年次	1950年(昭和25年)

上部工正面図 S=1:100



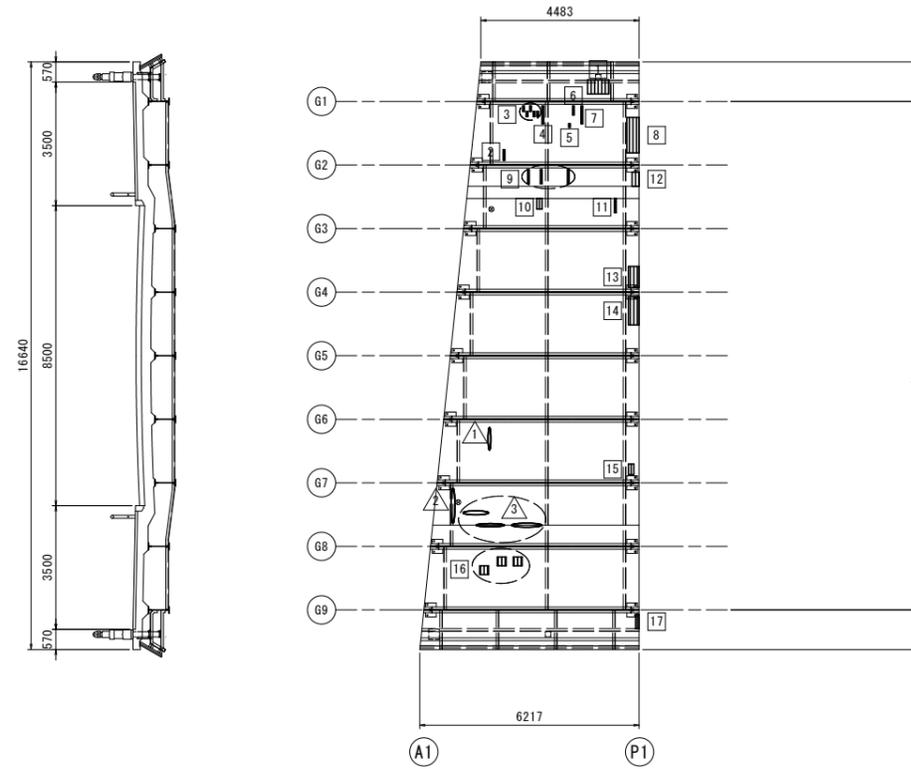
補修・補強計画一覧表

部位	補修工法	耐震補強工法 (P8橋脚)
主桁	橋梁塗装工、当て板補修工	落橋防止装置工
対横構	橋梁塗装工、当て板補修工	-
床版	断面修復工、ひび割れ補修工 剥落防止工	-
支承	橋梁塗装工	-
その他	防鳥ネット取付工	-

工事名	三条大橋補修工事 (その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	三条大橋 補修・補強一般図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	1 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

1径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

1径間 床版

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	備考
1	600	1	0.600	0.098	
2	1100	1	1.100	0.180	
3	800	3	2.400	0.392	
合計			4.100	0.670	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

断面修復工一覧表

1径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)	深さ (mm)			
1	剥離・鉄筋露出	400	600	50	1	0.0120	
2	剥離・鉄筋露出	300	50	50	1	0.0008	
3	剥離・鉄筋露出	150	50	50	5	0.0019	
4	剥離・鉄筋露出	500	50	50	1	0.0013	
5	剥離・鉄筋露出	100	50	50	1	0.0003	
6	剥離・鉄筋露出	250	50	50	1	0.0006	
7	剥離・鉄筋露出	500	50	50	1	0.0013	
8	剥離・鉄筋露出	1000	350	50	1	0.0175	
9	剥離・鉄筋露出	400	50	50	3	0.0030	
10	うき	300	150	50	1	0.0023	
11	剥離・鉄筋露出	400	50	50	1	0.0010	
12	剥離・鉄筋露出	400	200	50	1	0.0040	
13	剥離・鉄筋露出	600	300	50	1	0.0090	
14	うき	800	300	50	1	0.0120	
15	うき	300	150	50	1	0.0023	
16	うき	250	250	50	3	0.0094	
17	うき	400	100	50	1	0.0020	
合計						0.0807	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはつり深さは50mmを想定している。

補修 凡例

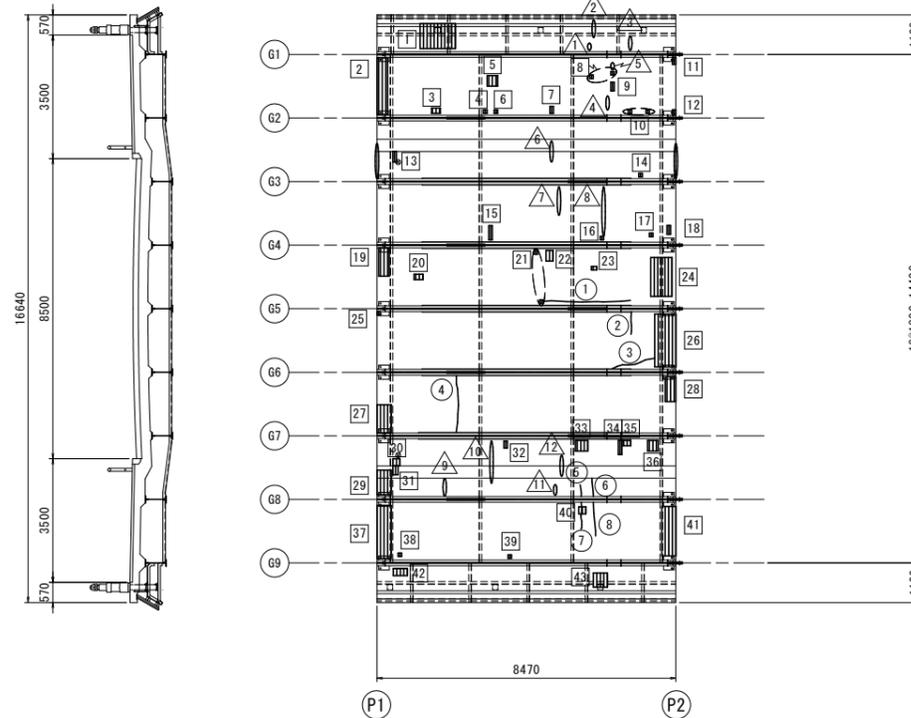
損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（充てん工法）	
断面修復工	

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえ最終数量を決定すること。

工事名	三条大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	1径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	2 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

2径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



断面修復工一覧表

2径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)	深さ (mm)			
1	剥離・鉄筋露出	700	1000	50	1	0.0350	
2	うき	1600	300	50	1	0.0240	
3	剥離・鉄筋露出	150	250	50	1	0.0019	
4	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
5	剥離・鉄筋露出	300	300	50	1	0.0045	
6	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
7	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
8	剥離・鉄筋露出	100	100	50	2	0.0010	
9	剥離・鉄筋露出	250	100	50	1	0.0013	
10	剥離・鉄筋露出	100	100	50	2	0.0010	
11	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
12	剥離・鉄筋露出	150	100	50	1	0.0008	
13	剥離・鉄筋露出	300	100	50	1	0.0015	
14	うき	100	100	50	1	0.0005	
15	剥離・鉄筋露出	400	100	50	1	0.0020	
16	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
17	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
18	剥離・鉄筋露出	250	100	50	1	0.0013	
19	うき	800	300	50	1	0.0120	
20	うき	150	250	50	1	0.0019	
21	うき	100	100	50	2	0.0010	
22	うき	300	200	50	1	0.0030	
23	うき	100	150	50	1	0.0008	
24	剥離・鉄筋露出	1100	600	50	1	0.0330	
25	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
26	剥離・鉄筋露出	1500	600	50	1	0.0450	
27	剥離・鉄筋露出	800	400	50	1	0.0160	
28	剥離・鉄筋露出	700	300	50	1	0.0105	
29	剥離・鉄筋露出	700	400	50	1	0.0140	
30	うき	200	200	50	1	0.0020	
31	剥離・鉄筋露出	250	150	50	1	0.0019	
32	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
33	うき	300	350	50	1	0.0053	
34	剥離・鉄筋露出	400	100	50	1	0.0020	
35	うき	150	250	50	1	0.0019	
36	剥離・鉄筋露出	300	300	50	1	0.0045	
37	うき	1500	400	50	1	0.0300	
38	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
39	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
40	うき	200	200	50	1	0.0020	
41	うき	1400	400	50	1	0.0280	
42	うき	200	400	50	1	0.0040	
43	剥離・鉄筋露出	400	400	50	1	0.0080	
合計						0.3081	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはつり深さは50mmを想定している。

ひび割れ補修工（低圧注入工法）一覧表

2径間 床版

番号	ひびわれ			箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	シーラ材重量 (kg)	注入器具 (個)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)						
1	0.30	2800	60	1	2.800	0.033	0.286	12	
2	0.20	1000	40	1	1.000	0.005	0.102	4	
3	0.20	1600	40	1	1.600	0.008	0.163	7	
4	0.30	1600	60	1	1.600	0.019	0.163	7	
5	0.30	500	60	1	0.500	0.006	0.051	2	
6	0.40	800	80	1	0.800	0.017	0.082	4	
7	0.30	800	60	1	0.800	0.010	0.082	4	
8	0.30	1100	60	1	1.100	0.013	0.112	5	
合計					10.200	0.111	1.041	45	

注) 補修材重量はロス率を含み、シーラ材重量はロス率を含まない。

ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

2径間 床版

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (m)	備考
1	200	1	0.200	0.033	
2	500	1	0.500	0.082	
3	400	1	0.400	0.065	
4	400	1	0.400	0.065	
5	150	1	0.150	0.025	
6	600	1	0.600	0.098	
7	800	1	0.800	0.131	
8	1600	1	1.600	0.262	
9	500	1	0.500	0.082	
10	1200	1	1.200	0.196	
11	300	1	0.300	0.049	
12	600	1	0.600	0.098	
合計			7.250	1.186	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

補修 凡例

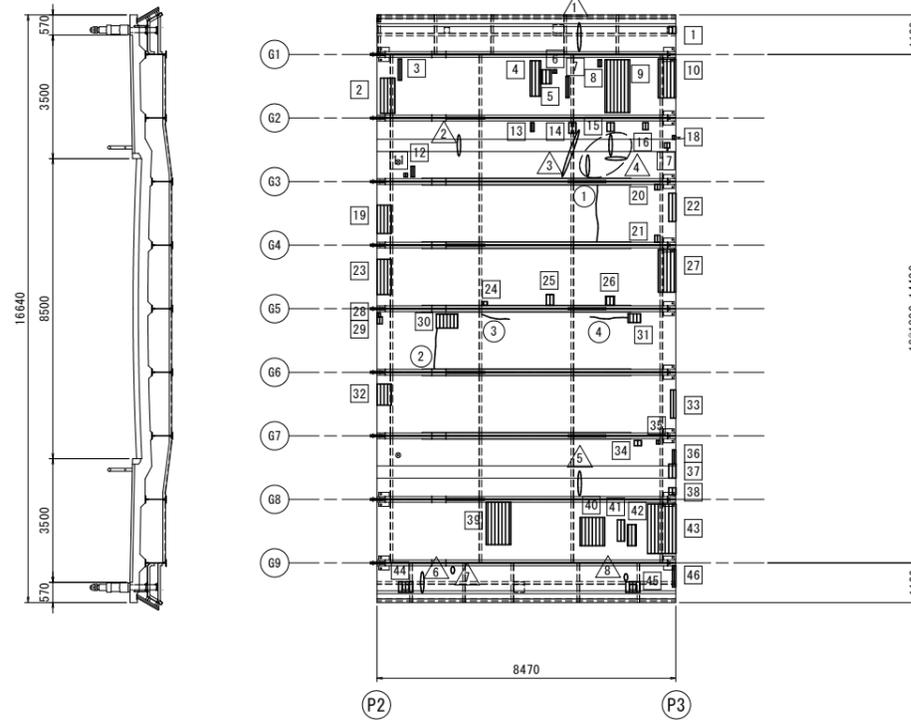
損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（低圧注入工法）	①
ひび割れ補修工（充てん工法）	②
断面修復工	③

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工事名	三条大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	2径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	3 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

3径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



断面修復工一覧表

3径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)	深さ (mm)			
1	剥離・鉄筋露出	200	200	50	1	0.0020	
2	剥離・鉄筋露出	1000	400	50	1	0.0200	
3	剥離・鉄筋露出	600	100	50	1	0.0030	
4	剥離・鉄筋露出	1000	300	50	1	0.0150	
5	うき	400	300	50	1	0.0060	
6	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
7	剥離・鉄筋露出	600	100	50	1	0.0030	
8	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
9	剥離・鉄筋露出	1900	700	50	1	0.0665	
10	剥離・鉄筋露出	1100	500	50	1	0.0275	
11	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
12	剥離・鉄筋露出	300	100	50	1	0.0015	
13	剥離・鉄筋露出	250	100	50	1	0.0013	
14	剥離・鉄筋露出	300	200	50	1	0.0030	
15	剥離・鉄筋露出	250	200	50	1	0.0025	
16	うき	200	150	50	1	0.0015	
17	剥離・鉄筋露出	150	150	50	1	0.0011	
18	剥離・鉄筋露出	50	100	50	1	0.0003	
19	剥離・鉄筋露出	800	400	50	1	0.0160	
20	剥離・鉄筋露出	150	150	50	1	0.0011	
21	剥離・鉄筋露出	200	150	50	1	0.0015	
22	剥離・鉄筋露出	800	200	50	1	0.0080	
23	剥離・鉄筋露出	1000	400	50	1	0.0200	
24	うき	100	150	50	1	0.0008	
25	うき	300	200	50	1	0.0030	
26	うき	250	250	50	1	0.0031	
27	剥離・鉄筋露出	1200	500	50	1	0.0300	
28	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
29	うき	200	150	50	1	0.0015	
30	うき	400	600	50	1	0.0120	
31	うき	250	350	50	1	0.0044	
32	うき	600	400	50	1	0.0120	
33	剥離・鉄筋露出	800	150	50	1	0.0060	
34	剥離・鉄筋露出	150	200	50	1	0.0015	
35	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
36	剥離・鉄筋露出	300	100	50	1	0.0015	
37	うき	400	200	50	1	0.0040	
38	剥離・鉄筋露出	200	200	50	1	0.0020	
39	剥離・鉄筋露出	1200	700	50	1	0.0420	
40	うき	800	700	50	1	0.0280	
41	うき	600	200	50	1	0.0060	
42	うき	600	250	50	1	0.0075	
43	剥離・鉄筋露出	1400	800	50	1	0.0560	
44	剥離・鉄筋露出	300	400	50	1	0.0060	
45	剥離・鉄筋露出	300	400	50	1	0.0060	
46	剥離・鉄筋露出	600	100	50	1	0.0030	
合計						0.4401	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはつり深さは50mmを想定している。

ひび割れ補修工（低圧注入工法）一覧表

3径間 床版

番号	ひびわれ			箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	シーラ材重量 (kg)	注入器具 (個)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)						
①	0.30	1600	60	1	1.600	0.019	0.163	7	
②	0.30	1700	60	1	1.700	0.020	0.173	7	
③	0.30	600	60	1	0.600	0.007	0.061	3	
④	0.30	1100	60	1	1.100	0.013	0.112	5	
合計					5.000	0.059	0.509	22	

注) 補修材重量はロス率を含み、シーラ材重量はロス率を含まない。

ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

3径間 床版

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	備考
△1	800	1	0.800	0.131	
△2	600	1	0.600	0.098	
△3	1400	1	1.400	0.229	
△4	600	3	1.800	0.294	
△5	700	1	0.700	0.114	
△6	600	1	0.600	0.098	
△7	200	1	0.200	0.033	
△8	200	1	0.200	0.033	
合計			6.300	1.030	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

補修 凡例

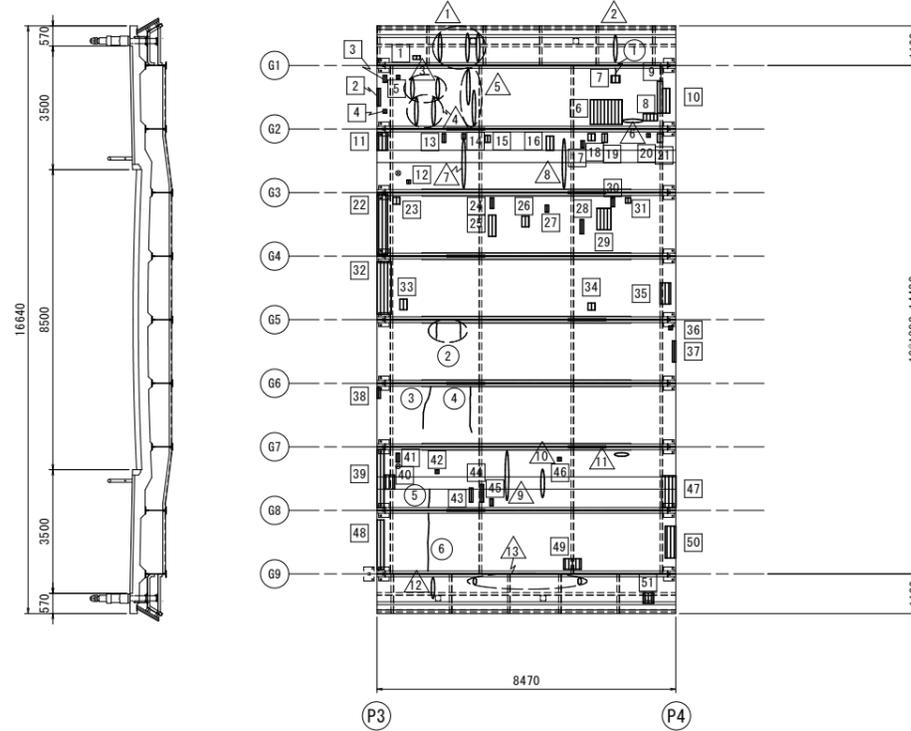
損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（低圧注入工法）	①
ひび割れ補修工（充てん工法）	△
断面修復工	①

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工事名	三栄大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	3径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	4 / 21
京都市建設局土木管理部横りょう健全推進課			

4径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



断面修復工一覧表

4径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)	深さ (mm)			
1	剥離・鉄筋露出	100	200	50	1	0.0010	
2	うき	500	100	50	1	0.0025	
3	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
4	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
5	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
6	うき	700	900	50	1	0.0315	
7	剥離・鉄筋露出	200	250	50	1	0.0025	
8	うき	200	400	50	1	0.0040	
9	剥離・鉄筋露出	900	150	50	1	0.0068	
10	うき	700	200	50	1	0.0070	
11	剥離・鉄筋露出	500	300	50	1	0.0075	
12	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
13	剥離・鉄筋露出	250	100	50	1	0.0013	
14	剥離・鉄筋露出	150	100	50	1	0.0008	
15	うき	200	150	50	1	0.0015	
16	剥離・鉄筋露出	400	200	50	1	0.0040	
17	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
18	剥離・鉄筋露出	200	200	50	1	0.0020	
19	剥離・鉄筋露出	250	150	50	1	0.0019	
20	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
21	剥離・鉄筋露出	250	150	50	1	0.0019	
22	うき	1700	300	50	1	0.0255	
23	剥離・鉄筋露出	200	200	50	1	0.0020	
24	剥離・鉄筋露出	300	100	50	1	0.0015	
25	剥離・鉄筋露出	600	200	50	1	0.0060	
26	うき	300	200	50	1	0.0030	
27	うき	200	100	50	1	0.0010	
28	剥離・鉄筋露出	400	100	50	1	0.0020	
29	うき	600	400	50	1	0.0120	
30	剥離・鉄筋露出	250	100	50	1	0.0013	
31	剥離・鉄筋露出	150	150	50	1	0.0011	
32	剥離・鉄筋露出	1500	400	50	1	0.0300	
33	剥離・鉄筋露出	300	200	50	1	0.0030	
34	うき	200	200	50	1	0.0020	
35	剥離・鉄筋露出	600	300	50	1	0.0090	
36	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
37	剥離・鉄筋露出	600	100	50	1	0.0030	
38	剥離・鉄筋露出	300	100	50	1	0.0015	
39	剥離・鉄筋露出	1700	200	50	1	0.0170	
40	うき	400	300	50	1	0.0060	
41	うき	250	100	50	1	0.0013	
42	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
43	剥離・鉄筋露出	400	100	50	1	0.0020	
44	剥離・鉄筋露出	500	100	50	1	0.0025	
45	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
46	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
47	剥離・鉄筋露出	900	400	50	1	0.0180	
48	うき	1400	200	50	1	0.0140	
49	剥離・鉄筋露出	300	500	50	1	0.0075	
50	剥離・鉄筋露出	900	300	50	1	0.0135	
51	剥離・鉄筋露出	300	300	50	1	0.0045	
合計						0.2729	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはつり深さは50mmを想定している。

ひび割れ補修工（低圧注入工法）一覧表

4径間 床版

番号	ひびわれ			箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	シーラ材重量 (kg)	注入器具 (個)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)						
1	0.20	250	40	1	0.250	0.001	0.026	1	
2	0.20	400	40	2	0.800	0.004	0.082	4	
3	0.30	1000	60	1	1.000	0.012	0.102	4	
4	0.30	1200	60	1	1.200	0.014	0.122	5	
5	0.30	500	60	1	0.500	0.006	0.051	2	
6	0.20	1700	40	1	1.700	0.009	0.173	7	
合計					5.450	0.046	0.556	23	

注) 補修材重量はロス率を含み、シーラ材重量はロス率を含まない。

ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

4径間 床版

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	備考
1	800	3	2.400	0.392	
2	750	1	0.750	0.123	
3	600	2	1.200	0.196	
4	800	2	1.600	0.262	
5	1000	2	2.000	0.327	
6	600	1	0.600	0.098	
7	1400	1	1.400	0.229	
8	1400	1	1.400	0.229	
9	1400	1	1.400	0.229	
10	800	1	0.800	0.131	
11	400	1	0.400	0.065	
12	600	1	0.600	0.098	
13	200	2	0.400	0.065	
合計			14.950	2.444	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

補修 凡例

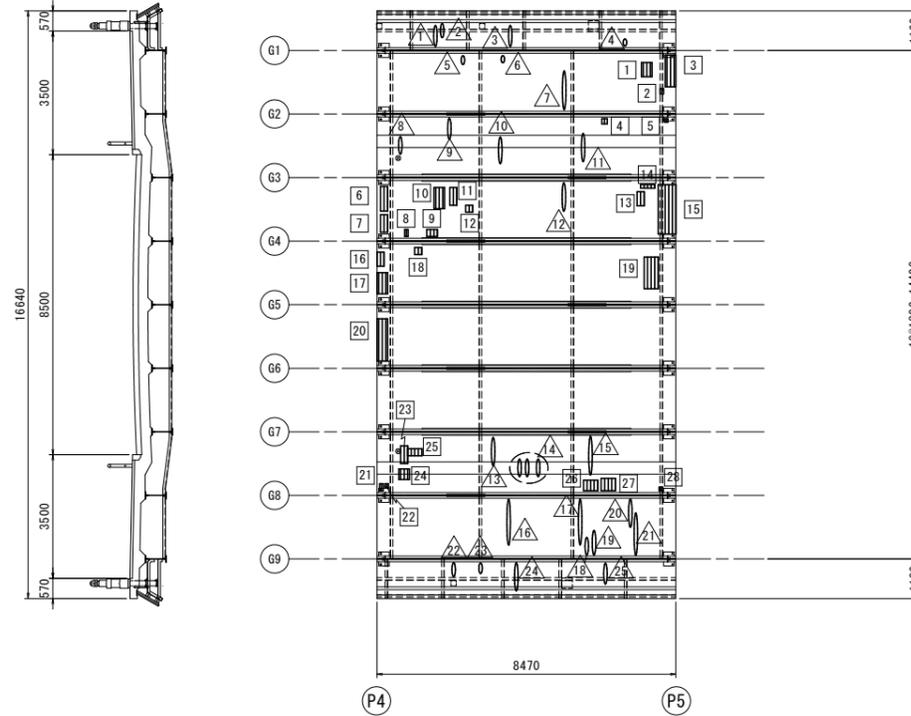
損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（低圧注入工法）	①
ひび割れ補修工（充てん工法）	②
断面修復工	③

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工事名	三栄大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	4径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	5 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

5径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



断面修復工一覧表

5径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m ³)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)	深さ (mm)			
1	うき	400	× 300	× 50	1	0.0060	
2	剝離・鉄筋露出	150	× 50	× 50	1	0.0004	
3	剝離・鉄筋露出	900	× 300	× 50	1	0.0135	
4	剝離・鉄筋露出	150	× 150	× 50	1	0.0011	
5	剝離・鉄筋露出	100	× 100	× 50	1	0.0005	
6	剝離・鉄筋露出	700	× 200	× 50	1	0.0070	
7	剝離・鉄筋露出	500	× 200	× 50	1	0.0050	
8	剝離・鉄筋露出	200	× 100	× 50	1	0.0010	
9	うき	200	× 300	× 50	1	0.0030	
10	剝離・鉄筋露出	600	× 300	× 50	1	0.0090	
11	剝離・鉄筋露出	500	× 200	× 50	1	0.0050	
12	うき	200	× 200	× 50	1	0.0020	
13	うき	400	× 200	× 50	1	0.0040	
14	うき	100	× 400	× 50	1	0.0020	
15	剝離・鉄筋露出	1400	× 500	× 50	1	0.0350	
16	剝離・鉄筋露出	400	× 200	× 50	1	0.0040	
17	うき	600	× 300	× 50	1	0.0090	
18	うき	200	× 200	× 50	1	0.0020	
19	うき	900	× 400	× 50	1	0.0180	
20	剝離・鉄筋露出	1200	× 300	× 50	1	0.0180	
21	剝離・鉄筋露出	200	× 50	× 50	1	0.0005	
22	剝離・鉄筋露出	100	× 50	× 50	1	0.0003	
23	剝離・鉄筋露出	500	× 200	× 50	1	0.0050	
24	剝離・鉄筋露出	300	× 300	× 50	1	0.0045	
25	うき	200	× 400	× 50	1	0.0040	
26	うき	300	× 400	× 50	1	0.0060	
27	うき	350	× 400	× 50	1	0.0070	
28	剝離・鉄筋露出	100	× 100	× 50	1	0.0005	
合計						0.1733	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはつり深さは50mmを想定している。

ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

5径間 床版

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	備考
1	600	1	0.600	0.098	
2	400	1	0.400	0.065	
3	600	1	0.600	0.098	
4	200	1	0.200	0.033	
5	250	1	0.250	0.041	
6	200	1	0.200	0.033	
7	1100	1	1.100	0.180	
8	500	1	0.500	0.082	
9	600	1	0.600	0.098	
10	750	1	0.750	0.123	
11	800	1	0.800	0.131	
12	800	1	0.800	0.131	
13	800	1	0.800	0.131	
14	500	3	1.500	0.245	
15	1100	1	1.100	0.180	
16	1300	1	1.300	0.213	
17	1300	1	1.300	0.213	
18	500	1	0.500	0.082	
19	700	1	0.700	0.114	
20	800	1	0.800	0.131	
21	1200	1	1.200	0.196	
22	400	1	0.400	0.065	
23	300	1	0.300	0.049	
24	800	1	0.800	0.131	
25	600	1	0.600	0.098	
合計			18.100	2.961	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

補修 凡例

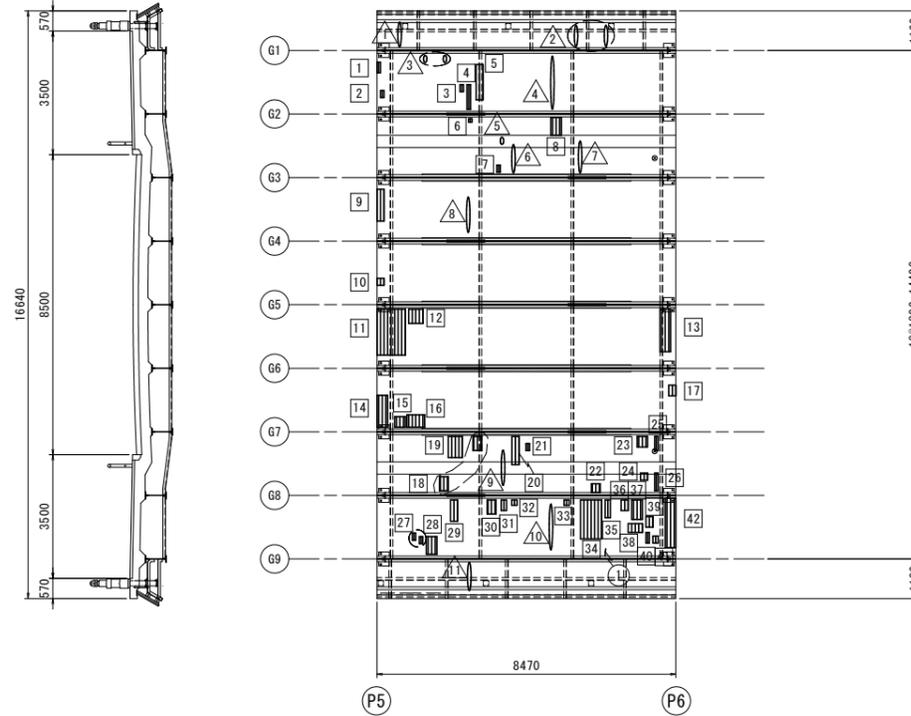
損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（充てん工法）	
断面修復工	

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工事名	三桑大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	5径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	6 / 21
京都市建設局土木管理部横りよう健全推進課			

6径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



ひび割れ補修工（低圧注入工法）一覧表

6径間 床版

番号	ひびわれ			箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	シール材重量 (kg)	注入器具 (個)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)						
①	0.20	300	40	1	0.300	0.002	0.031	2	
合計					0.300	0.002	0.031	2	

注) 補修材重量はロス率を含み、シール材重量はロス率を含まない。

ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

6径間 床版

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	備考
△1	700	1	0.700	0.114	
△2	600	2	1.200	0.196	
△3	200	2	0.400	0.065	
△4	1500	1	1.500	0.245	
△5	200	1	0.200	0.033	
△6	800	1	0.800	0.131	
△7	900	1	0.900	0.147	
△8	1000	1	1.000	0.164	
△9	1000	1	1.000	0.164	
△10	1300	1	1.300	0.213	
△11	800	1	0.800	0.131	
合計			9.800	1.603	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

断面修復工一覧表

6径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m3)	備考
		縦(mm)	横(mm)	深さ(mm)			
1	剥離・鉄筋露出	300	50	50	1	0.0008	
2	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
3	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
4	うき	700	100	50	1	0.0035	
5	剥離・鉄筋露出	1000	200	50	1	0.0100	
6	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
7	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
8	剥離・鉄筋露出	500	300	50	1	0.0075	
9	剥離・鉄筋露出	900	200	50	1	0.0090	
10	うき	200	200	50	1	0.0020	
11	うき	1300	800	50	1	0.0520	
12	うき	400	400	50	1	0.0080	
13	うき	1200	300	50	1	0.0180	
14	うき	900	300	50	1	0.0135	
15	うき	300	300	50	1	0.0045	
16	剥離・鉄筋露出	350	500	50	1	0.0088	
17	うき	300	200	50	1	0.0030	
18	うき	400	250	50	2	0.0100	
19	うき	600	400	50	1	0.0120	
20	うき	800	200	50	1	0.0080	
21	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
22	剥離・鉄筋露出	250	250	50	1	0.0031	
23	うき	300	300	50	1	0.0045	
24	剥離・鉄筋露出	200	200	50	1	0.0020	
25	剥離・鉄筋露出	400	100	50	1	0.0020	
26	うき	500	100	50	1	0.0025	
27	剥離・鉄筋露出	200	100	50	2	0.0020	
28	うき	500	300	50	1	0.0075	
29	うき	600	200	50	1	0.0060	
30	うき	400	250	50	1	0.0050	
31	うき	300	150	50	1	0.0023	
32	うき	150	150	50	1	0.0011	
33	剥離・鉄筋露出	150	150	50	1	0.0011	
34	うき	1100	600	50	1	0.0330	
35	剥離・鉄筋露出	500	150	50	1	0.0038	
36	剥離・鉄筋露出	300	200	50	1	0.0030	
37	うき	550	300	50	1	0.0083	
38	剥離・鉄筋露出	250	400	50	1	0.0050	
39	うき	300	200	50	1	0.0030	
40	うき	300	100	50	1	0.0015	
41	うき	200	150	50	1	0.0015	
42	剥離・鉄筋露出	1400	300	50	1	0.0210	
合計						0.2943	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはり深さは50mmを想定している。

補修 凡例

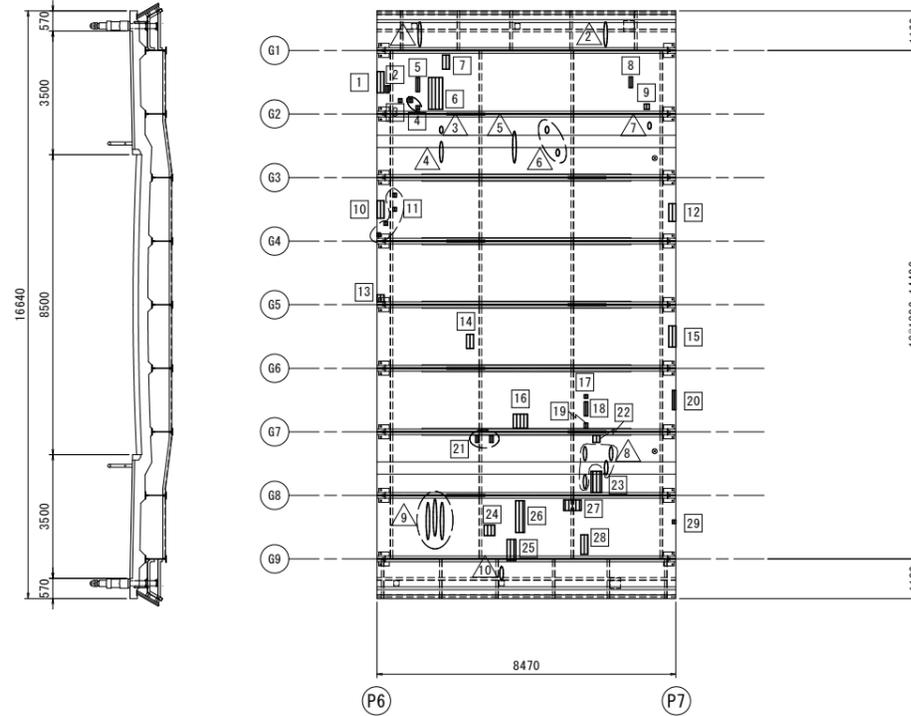
損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（低圧注入工法）	① ~
ひび割れ補修工（充てん工法）	△ ~
断面修復工	① ~

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工事名	三栄大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	6径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	7 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

7径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	備考
1	700	1	0.700	0.114	
2	700	1	0.700	0.114	
3	200	1	0.200	0.033	
4	600	1	0.600	0.098	
5	900	1	0.900	0.147	
6	200	2	0.400	0.065	
7	200	1	0.200	0.033	
8	400	4	1.600	0.262	
9	1050	3	3.150	0.515	
10	400	1	0.400	0.065	
合計			8.850	1.446	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

断面修復工一覧表

7径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)	深さ (mm)			
1	うき	600	200	50	1	0.0060	
2	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
3	うき	100	100	50	1	0.0005	
4	剥離・鉄筋露出	100	100	50	2	0.0010	
5	剥離・鉄筋露出	400	100	50	1	0.0020	
6	うき	900	400	50	1	0.0180	
7	うき	400	200	50	1	0.0040	
8	うき	300	100	50	1	0.0015	
9	剥離・鉄筋露出	150	150	50	1	0.0011	
10	剥離・鉄筋露出	500	200	50	1	0.0050	
11	剥離・鉄筋露出	100	100	50	4	0.0020	
12	うき	500	200	50	1	0.0050	
13	剥離	200	200	50	1	0.0020	
14	うき	400	200	50	1	0.0040	
15	剥離・鉄筋露出	600	200	50	1	0.0060	
16	うき	400	400	50	1	0.0080	
17	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
18	うき	400	100	50	1	0.0020	
19	剥離・鉄筋露出	150	100	50	1	0.0008	
20	剥離・鉄筋露出	550	100	50	1	0.0028	
21	剥離・鉄筋露出	200	100	50	2	0.0020	
22	うき	200	200	50	1	0.0020	
23	うき	600	300	50	1	0.0090	
24	うき	300	300	50	1	0.0045	
25	うき	600	250	50	1	0.0075	
26	うき	900	250	50	1	0.0113	
27	うき	300	500	50	1	0.0075	
28	うき	550	200	50	1	0.0055	
29	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
合計						0.1230	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはつり深さは50mmを想定している。

補修 凡例

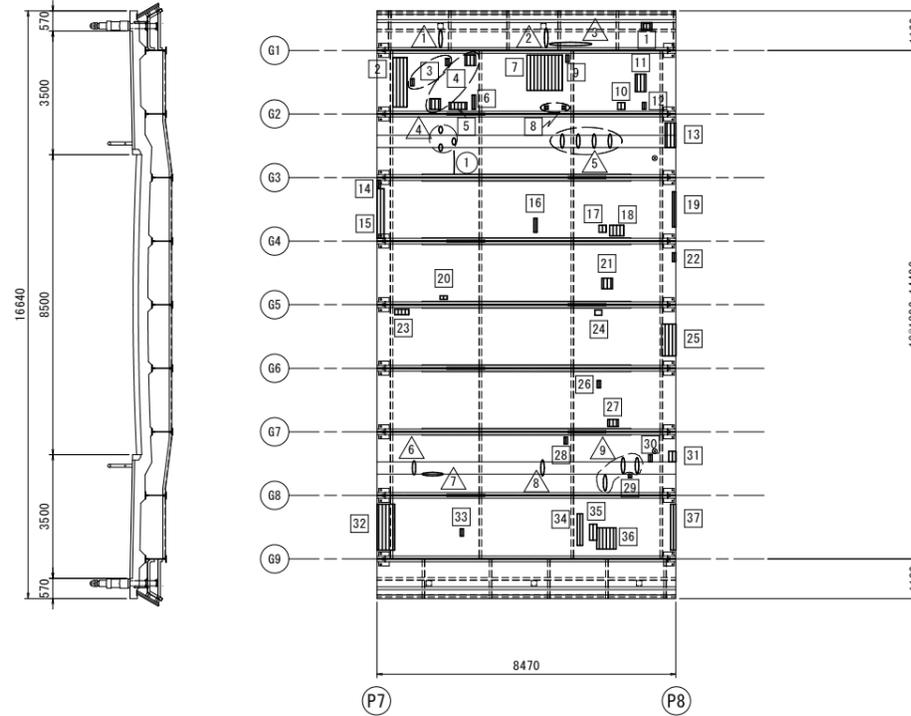
損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（充てん工法）	
断面修復工	

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工事名	三糸大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	7径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	8 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

8径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



断面修復工一覧表

8径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m ³)	備考
		縦(mm)	横(mm)	深さ(mm)			
1	剥離・鉄筋露出	200	300	50	1	0.0030	
2	うき	1400	400	50	1	0.0280	
3	うき	200	100	50	2	0.0020	
4	うき	300	300	50	2	0.0090	
5	剥離・鉄筋露出	200	500	50	1	0.0050	
6	うき	400	100	50	1	0.0020	
7	うき	1000	1000	50	1	0.0500	
8	うき	100	100	50	2	0.0010	
9	うき	200	100	50	1	0.0010	
10	うき	200	200	50	1	0.0020	
11	うき	500	300	50	1	0.0075	
12	うき	200	100	50	1	0.0010	
13	剥離・鉄筋露出	700	300	50	1	0.0105	
14	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
15	うき	1400	200	50	1	0.0140	
16	うき	400	100	50	1	0.0020	
17	うき	200	200	50	1	0.0020	
18	うき	300	400	50	1	0.0060	
19	剥離・鉄筋露出	1000	50	50	1	0.0025	
20	うき	100	200	50	1	0.0010	
21	うき	300	300	50	1	0.0045	
22	剥離・鉄筋露出	250	100	50	1	0.0013	
23	剥離・鉄筋露出	150	400	50	1	0.0030	
24	豆板	150	200	50	1	0.0015	
25	剥離・鉄筋露出	900	400	50	1	0.0180	
26	うき	200	100	50	1	0.0010	
27	うき	200	300	50	1	0.0030	
28	うき	200	100	50	1	0.0010	
29	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.0005	
30	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
31	剥離・鉄筋露出	300	200	50	1	0.0030	
32	剥離・鉄筋露出	1300	500	50	1	0.0325	
33	剥離・鉄筋露出	200	100	50	1	0.0010	
34	うき	900	150	50	1	0.0068	
35	剥離・鉄筋露出	450	200	50	1	0.0045	
36	うき	600	550	50	1	0.0165	
37	剥離・鉄筋露出	1300	150	50	1	0.0098	
合計						0.2594	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはつり深さは50mmを想定している。

ひび割れ補修工（低圧注入工法）一覧表

8径間 床版

番号	ひびわれ			箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	シーリング重量 (kg)	注入器具 (個)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)						
①	0.300	700	60	1	0.700	0.008	0.071	3	
合計					0.700	0.008	0.071	3	

注) 補修材重量はロス率を含み、シーリング重量はロス率を含まない。

ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

8径間 床版

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	備考
△1	500	1	0.500	0.082	
△2	550	1	0.550	0.090	
△3	1200	1	1.200	0.196	
△4	200	3	0.600	0.098	
△5	400	4	1.600	0.262	
△6	400	1	0.400	0.065	
△7	600	1	0.600	0.098	
△8	450	1	0.450	0.074	
△9	450	3	1.350	0.221	
合計			7.250	1.186	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

補修 凡例

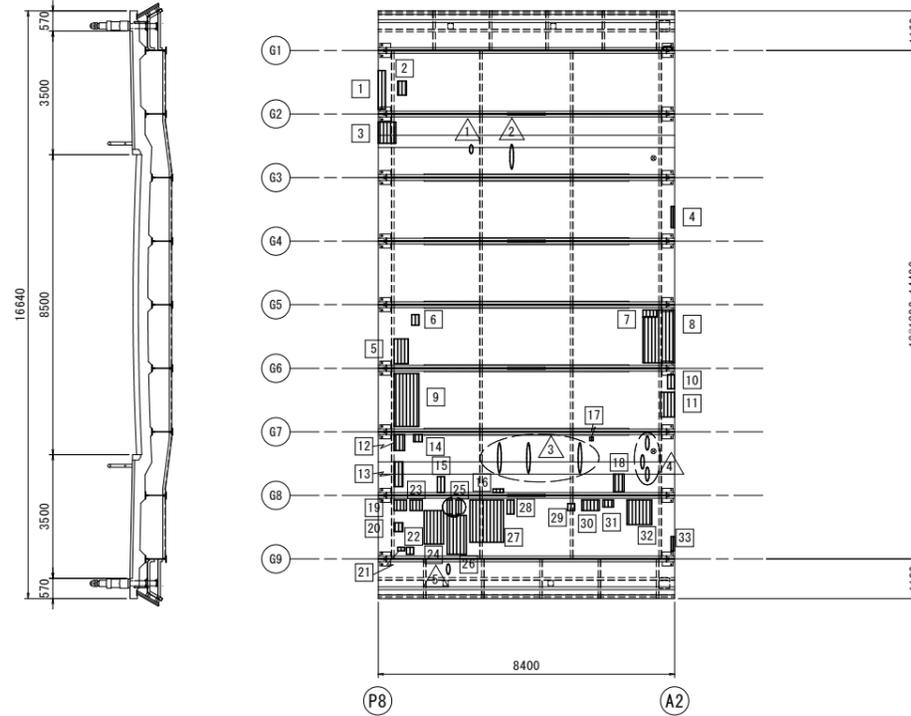
損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（低圧注入工法）	①
ひび割れ補修工（充てん工法）	△
断面修復工	①

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工事名	三桑大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	8径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	9 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

9径間 床版 補修図

桁下面図 S=1:100



ひび割れ補修工（充てん工法）一覧表

9径間 床版

番号	ひびわれ長さ (mm)	箇所	ひびわれ長 (m)	補修材重量 (kg)	備考
1	250	1	0.250	0.041	
2	700	1	0.700	0.114	
3	850	3	2.550	0.417	
4	400	3	1.200	0.196	
5	300	1	0.300	0.049	
合計			5.000	0.817	

注) 補修材重量はロス率を含まない。

断面修復工一覧表

9径間 床版

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	体積 (m ³)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)	深さ (mm)			
1	剥離・鉄筋露出	1100	200	50	1	0.0110	
2	うき	400	250	50	1	0.0050	
3	剥離・鉄筋露出	600	500	50	1	0.0150	
4	剥離・鉄筋露出	600	50	50	1	0.0015	
5	うき	700	400	50	1	0.0140	
6	うき	300	200	50	1	0.0030	
7	剥離・鉄筋露出	200	400	50	1	0.0040	
8	うき	1500	900	50	1	0.0675	
9	剥離・鉄筋露出	1500	700	50	1	0.0525	
10	うき	400	200	50	1	0.0040	
11	剥離・鉄筋露出	700	400	50	1	0.0140	
12	剥離・鉄筋露出	450	300	50	1	0.0068	
13	剥離・鉄筋露出	700	250	50	1	0.0088	
14	うき	200	250	50	1	0.0025	
15	剥離・鉄筋露出	450	200	50	1	0.0045	
16	うき	100	300	50	1	0.0015	
17	うき	100	100	50	1	0.0005	
18	うき	500	300	50	1	0.0075	
19	うき	300	350	50	1	0.0053	
20	うき	250	250	50	1	0.0031	
21	剥離・鉄筋露出	100	200	50	1	0.0010	
22	うき	200	200	50	1	0.0020	
23	剥離・鉄筋露出	300	350	50	1	0.0053	
24	剥離・鉄筋露出	950	500	50	1	0.0238	
25	剥離・鉄筋露出	400	150	50	2	0.0060	
26	剥離・鉄筋露出	1100	550	50	1	0.0303	
27	剥離・鉄筋露出	1200	950	50	1	0.0570	
28	剥離・鉄筋露出	400	200	50	1	0.0040	
29	剥離・鉄筋露出	200	200	50	1	0.0020	
30	剥離・鉄筋露出	300	500	50	1	0.0075	
31	剥離・鉄筋露出	200	300	50	1	0.0030	
32	剥離・鉄筋露出	700	700	50	1	0.0245	
33	剥離・鉄筋露出	400	100	50	1	0.0020	
合計						0.4004	

注) 過年度工事における断面修復深さの平均値が48.8mmであったことから、本工事におけるはつり深さは50mmを想定している。

補修 凡例

損傷の種類	表示
ひび割れ補修工（充てん工法）	
断面修復工	

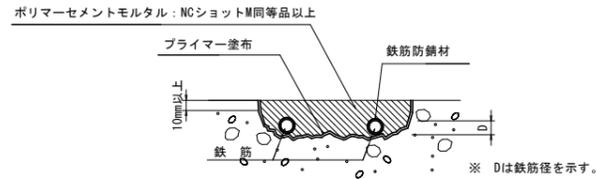
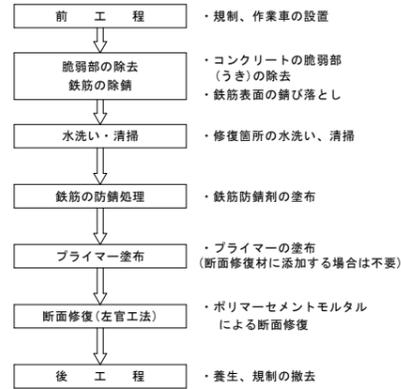
注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工事名	三糸大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	9径間 床版 補修図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:100	図面番号	10 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

補修工法（断面修復工及びひび割れ補修工）概要図

断面修復工

断面修復工 施工フロー

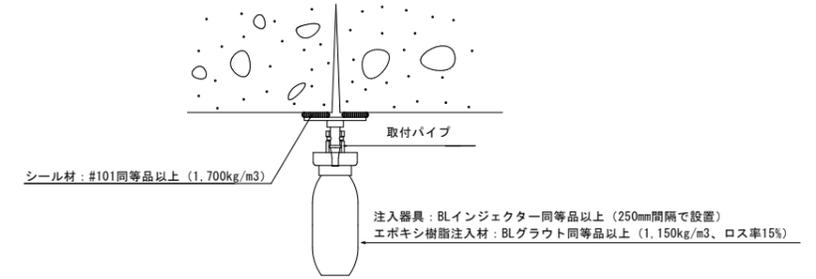
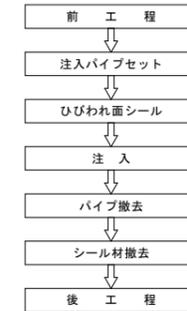


注1) 断面修復箇所端部のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れ、最小施工厚み(10mm以上)を確保すること。
注2) 鉄筋が腐食している場合には、ディスクサンダー等を用いて錆の除去を行うこと。

注1) 鉄筋までハツリ出しすること。
注2) 鉄筋腐食が確認された際は、鉄筋の防錆処理を施すこと。

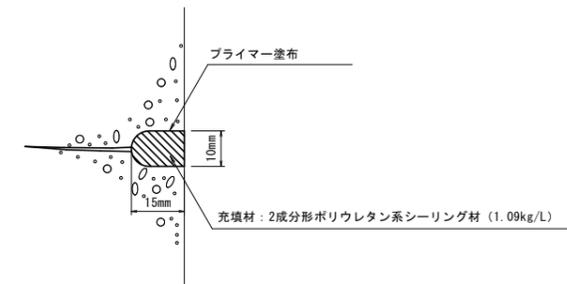
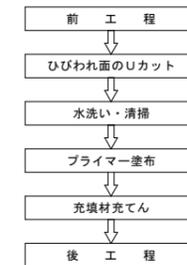
ひび割れ補修工（低圧注入工法）詳細図

ひびわれ注入工 施工フロー



ひび割れ補修工（充てん工法）詳細図

ひびわれ充填工 施工フロー

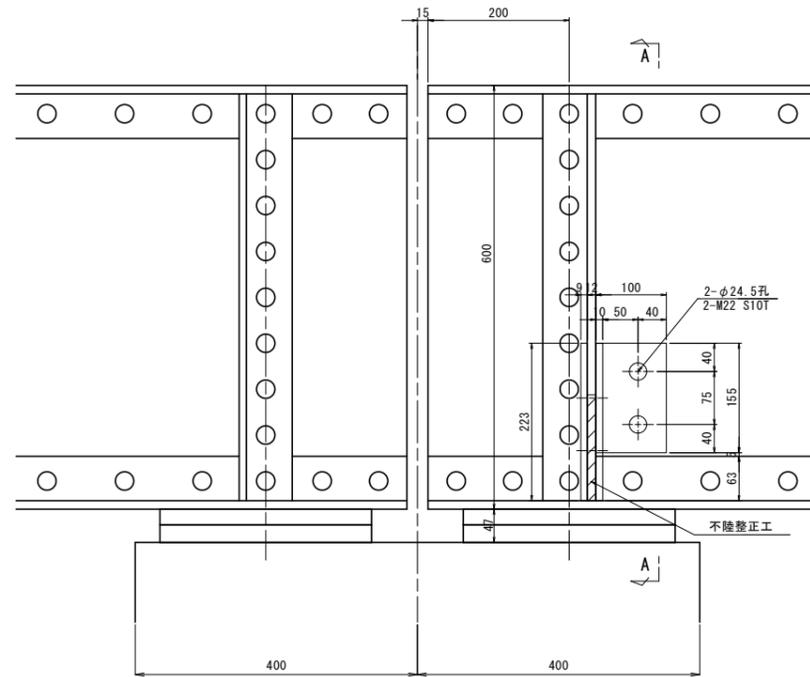


工事名	三条大橋補修工事（その4）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	補修工法（断面修復工及びひび割れ補修工）概要図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	-	図面番号	11 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

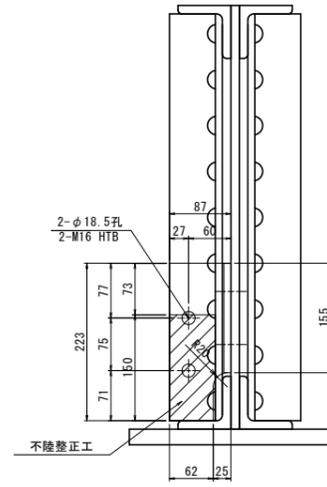
当て板補修図(その1) S=1:5

支点上補剛材当て板補修図

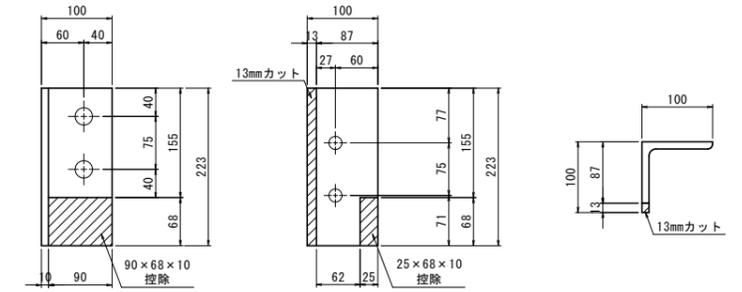
側面図



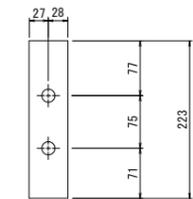
A - A



当て板詳細図
(L-100×100×10×223)

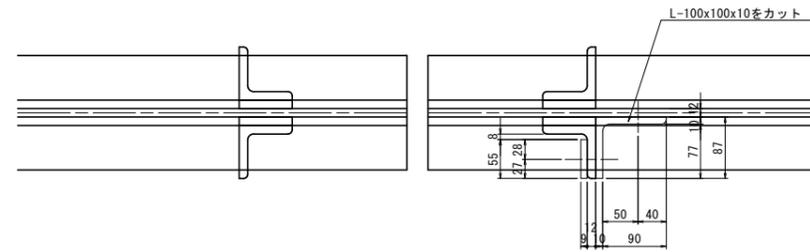


(PL-55×9×223)

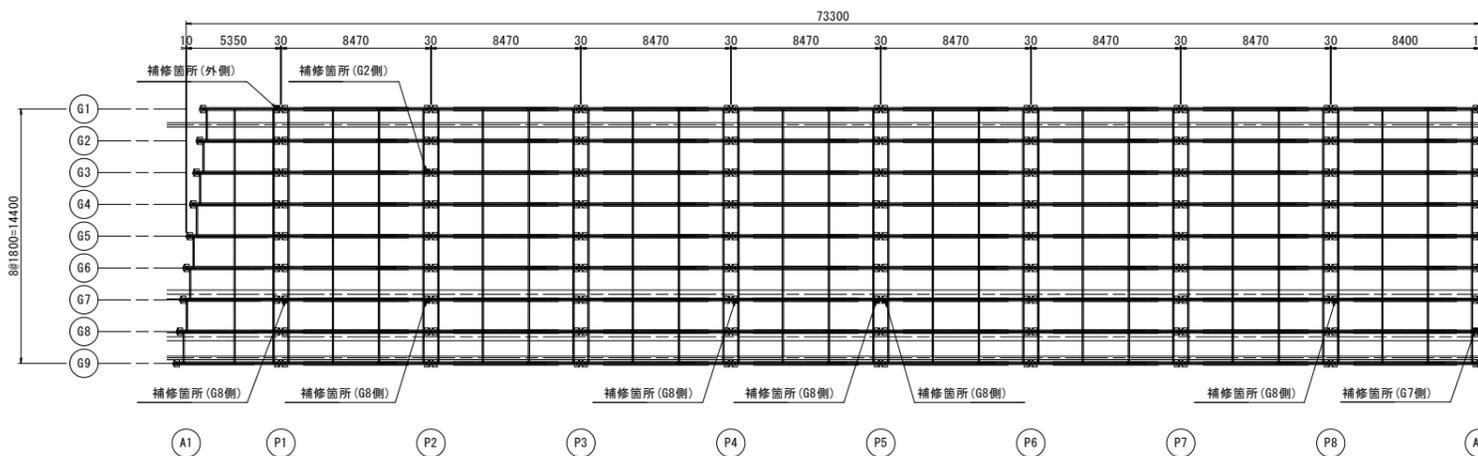


- 1箇所当り(製作数:9組)
 1-L 100×100×10×223
 1-PL 55×9×223
 2-TCB M22×60 (S10T)
 2-HTB M16×65 (F10T)

平面図



位置図 S=1:200



不陸整正工数量表

腐食欠損箇所	損傷寸法 (mm)	面積 (m ²)	体積 (m ³)	材料
第1径間 G1 終点側	75×90×6	0.007	0.00004	ラスタップE1110 同等品以上
第2径間 G3 終点側	75×150×6	0.011	0.00007	
第2径間 G7 起点側	75×90×5	0.007	0.00003	
第2径間 G7 終点側	75×150×8	0.011	0.00009	
第5径間 G7 起点側	75×100×6	0.008	0.00005	
第5径間 G7 終点側	75×150×5	0.011	0.00006	
第6径間 G7 起点側	75×150×11	0.011	0.00012	
第9径間 G7 起点側	50×50×10	0.003	0.00003	
第9径間 G8 起点側	50×50×6	0.003	0.00002	
合計		0.072	0.00051	

塗装仕様 F-11塗装系 (スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗膜厚 (μm)	塗装間隔	
工場製作	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内	
	防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	75	1年以内
現場	素地調整	動力工具処理 ISO St 3		4時間以内	
	下塗	ミストコート、変性エポキシ樹脂塗料下塗	160		1日~10日
	下塗	超薄膜形エポキシ樹脂塗料	1100	300	1日~10日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日~10日
	上塗	ふっ素樹脂塗料用上塗	140	25	1日~10日

鋼道路橋防食便覧 P. II-64

注記)

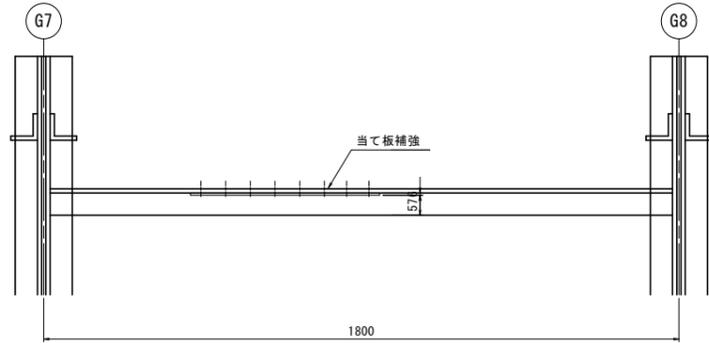
- 特記なき材質はSS400材とする。
- 施工範囲は現地調査の上決定すること。
- 主桁取付部材は全て塗装仕様とする。
- 当て板と母材間において、弾性シーラント (MSコーク ノンブリードLM同等品以上) を用いて止水対策を行うこと。

工事名	三栄大橋補修工事 (その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	当て板補修図 (その1)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	12 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

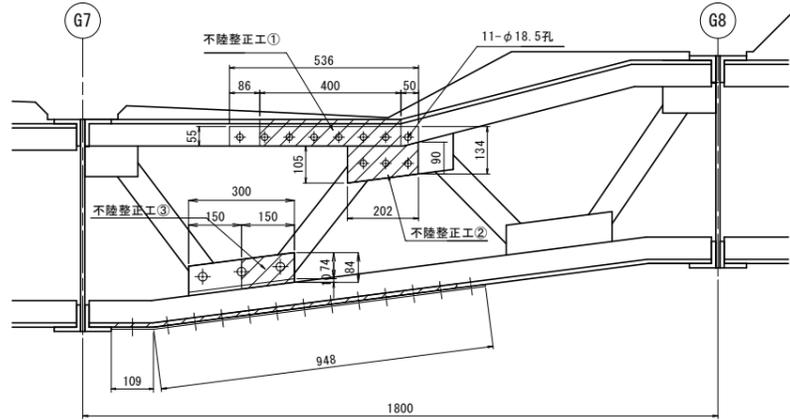
当て板補修図(その2) S=1:10

端対傾構当て板補修図

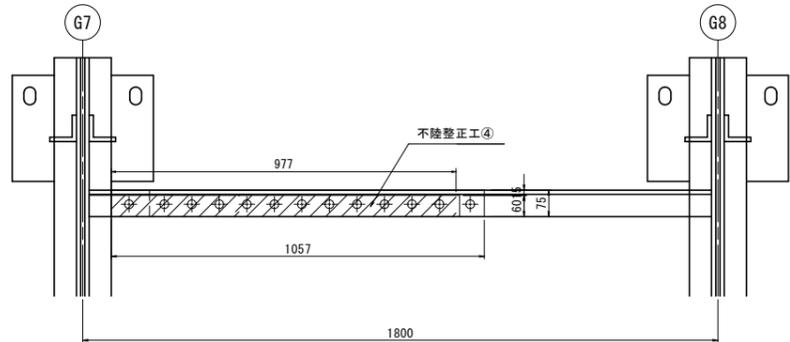
G7-G8桁間 終点側
平面図(上面)



正面図

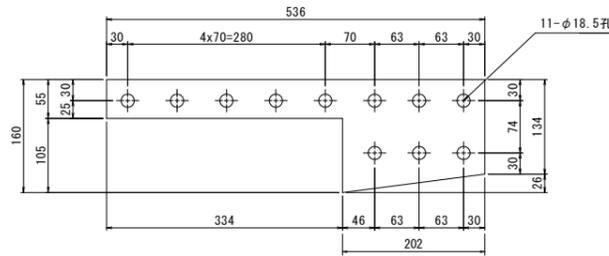


平面図(下面)

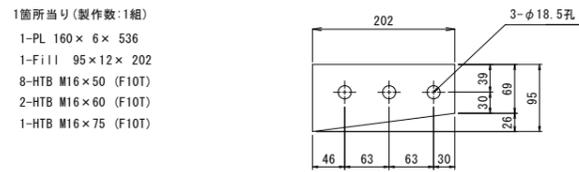


当て板詳細図 S=1:5

上弦材当て板

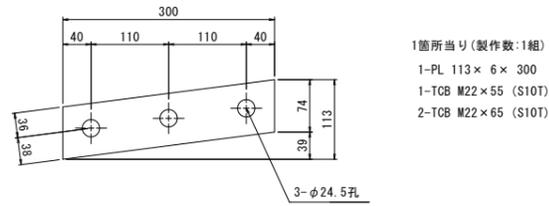


フィラープレート



- 1箇所当り(製作数:1組)
 1-PL 160×6×536
 1-Fill 95×12×202
 8-HTB M16×50 (F10T)
 2-HTB M16×60 (F10T)
 1-HTB M16×75 (F10T)

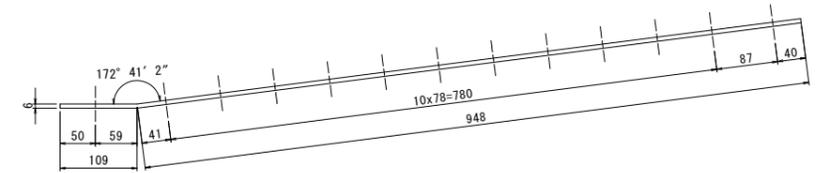
斜材ガセット当て板



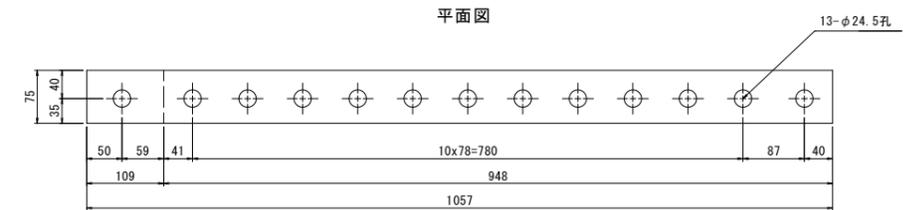
- 1箇所当り(製作数:1組)
 1-PL 113×6×300
 1-TCB M22×55 (S10T)
 2-TCB M22×65 (S10T)

下弦材当て板

側面図

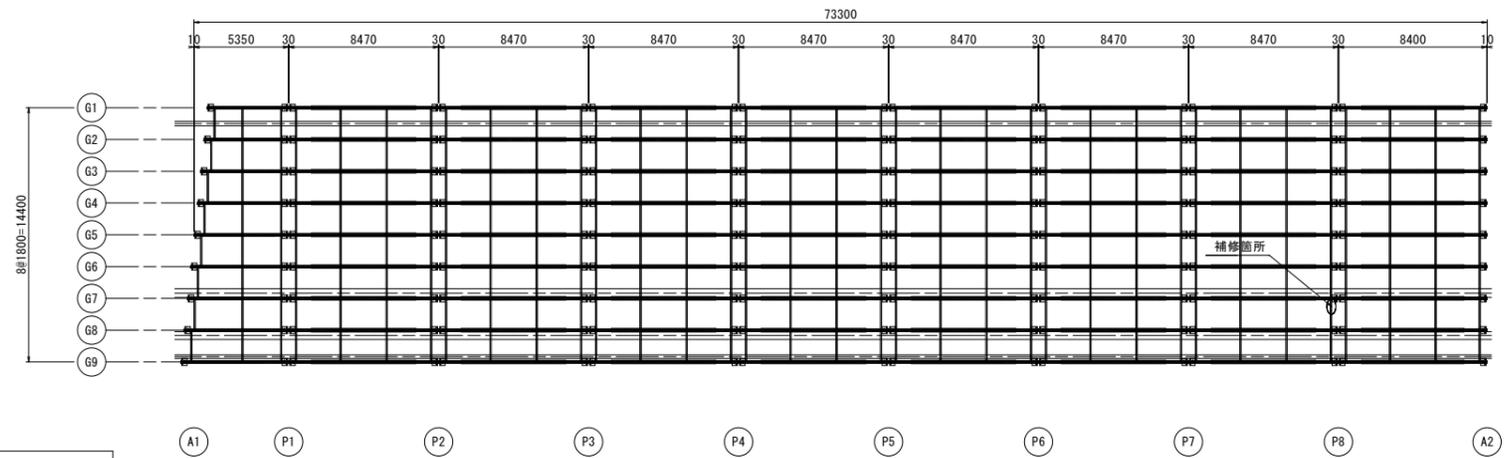


平面図



- 1箇所当り(製作数:1組)
 1-FB 75×6×1057
 13-TCB M22×55 (S10T)

位置図 S=1:200

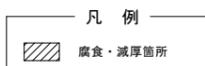


不陸整正工数量表

腐食減厚箇所	損傷寸法 (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	材料
①	400×55	0.0220	0.00009	ラススタッフE1110 同等品以上
②	(105、90)×202	0.0197	0.00008	
③	150×84	0.0126	0.00005	
④	977×60	0.0586	0.00023	
合計		0.1129	0.00045	

F-11塗装数量表

施工箇所	施工面積 (m2)	施工面積合計 (m2)
支点上補剛材	0.67	1.01
端対傾構	0.34	



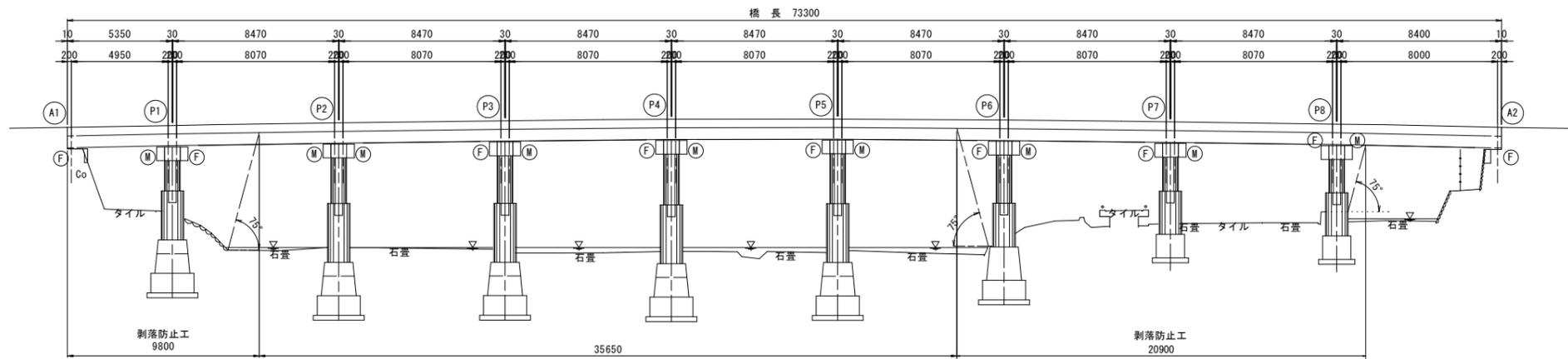
注記)

- 特記なき材質はSS400材とする。
- 施工範囲は現地調査の上決定すること。
- 主桁取付部材は全て塗装仕様とする。
- 当て板と母材間において、弾性シーラント (MSコーク ノンブリードLM同等品以上) を用いて止水対策を行うこと。

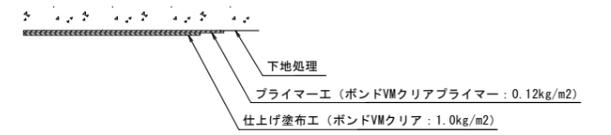
工事名	三栄大橋補修工事(その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	当て板補修図(その2)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	13 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

剥落防止工図

側面図 S=1:150

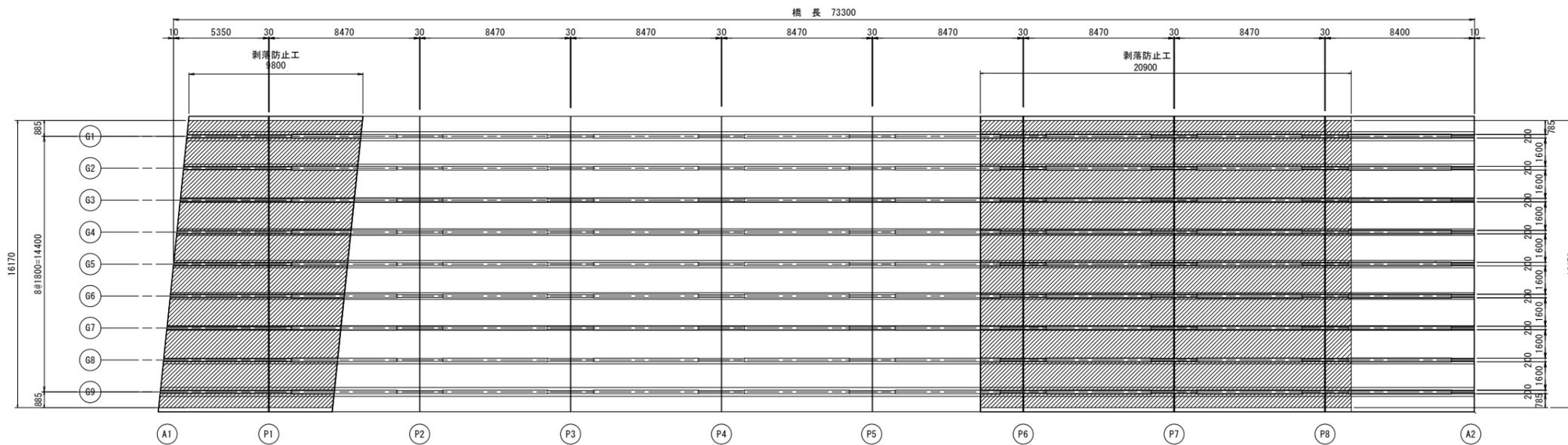


剥落防止工詳細図

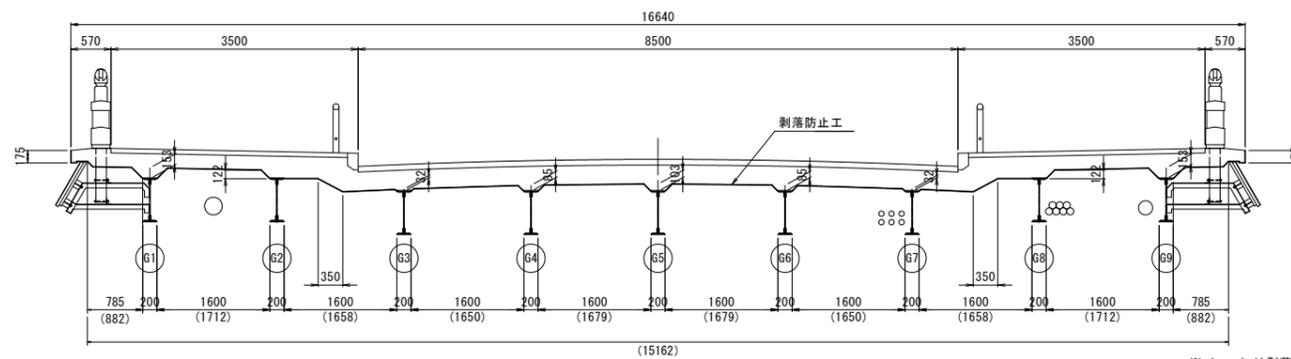


※ボンドKEEPメンテ工法VMクリアと同等以上の規格、性能を満足させるものとする。

平面図 S=1:150



断面図 S=1:50

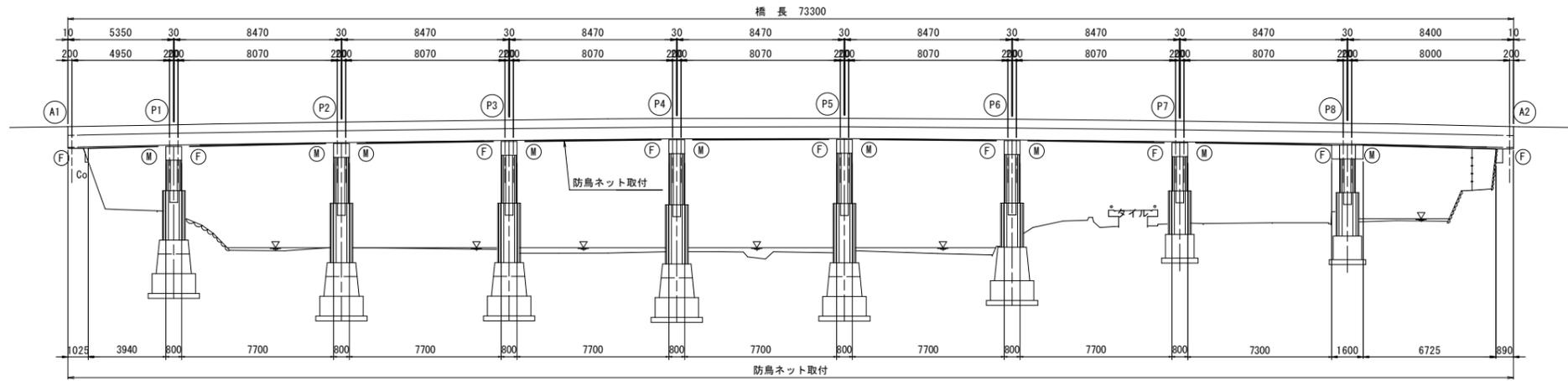


※ () は剥落防止設置延長を示す。

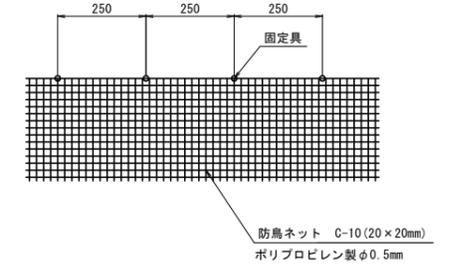
工事名	三栄大橋補修工事 (その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	剥落防止工図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	14 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

防鳥ネット取付図

側面図 S=1:150

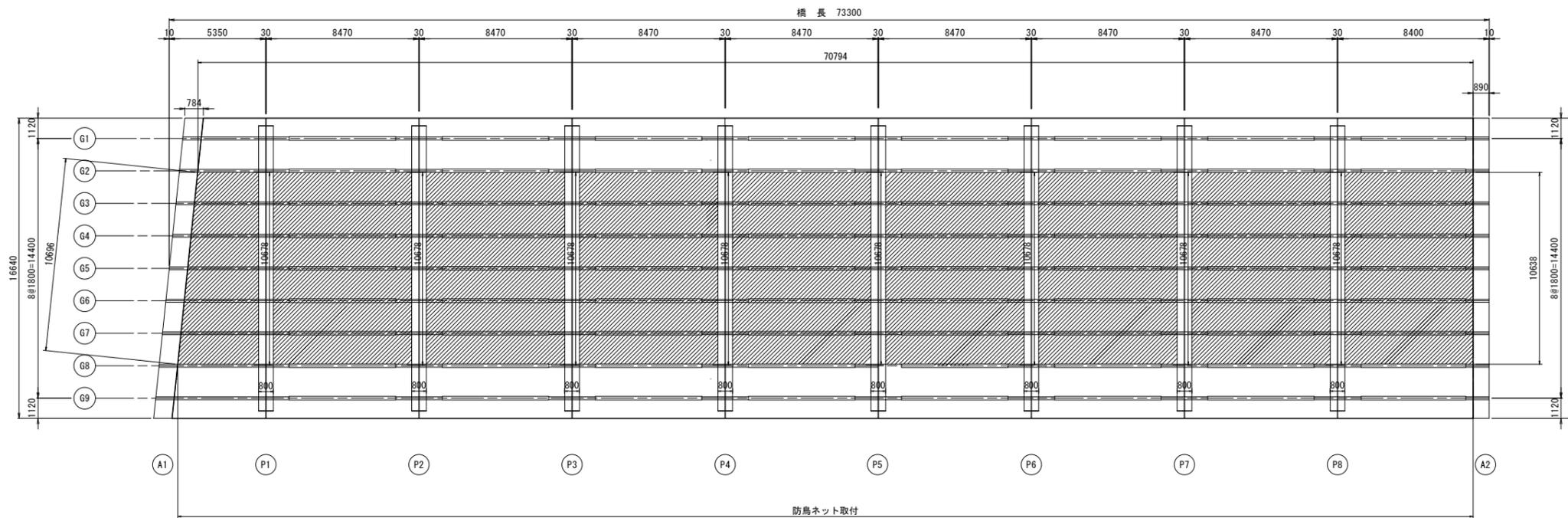


ネット詳細図 S=1:10



- 注1) NETIS登録番号「QS-160033-A」による工法と同等以上の規格・性能を満足させるものとする。
 注2) 固定具の接着剤は、合成樹脂を主成分とした多用途強力接着剤を使用すること。

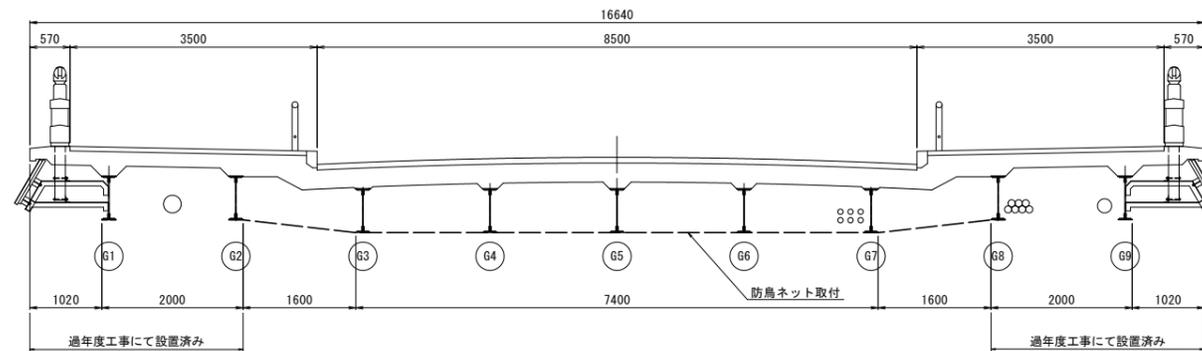
平面図 S=1:150



防鳥ネット取付数量表

種別	細別	施工面積 (m2)
防鳥ネット取付工	防鳥ネット取付	600.3

断面図 S=1:50

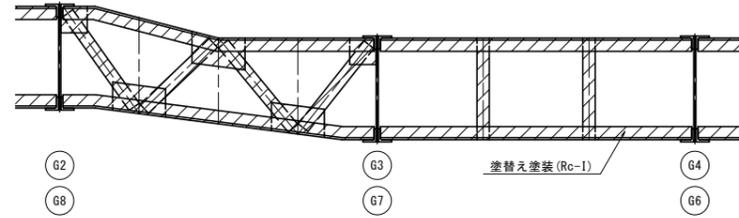


工事名	三栄大橋補修工事 (その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	防鳥ネット取付図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	15 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

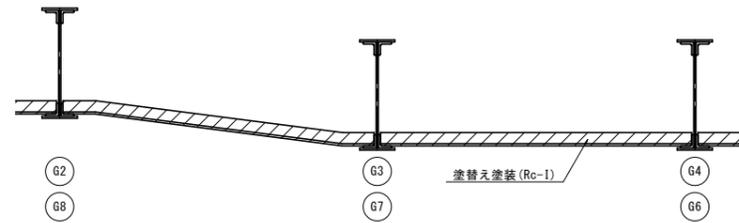
橋梁塗装工図 (その2) S=1:20

対傾構部

端部

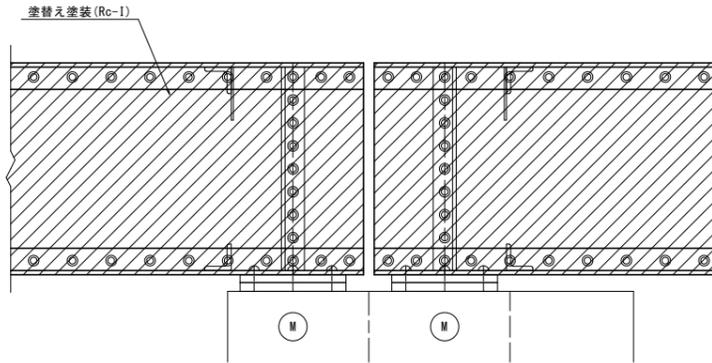


中間部

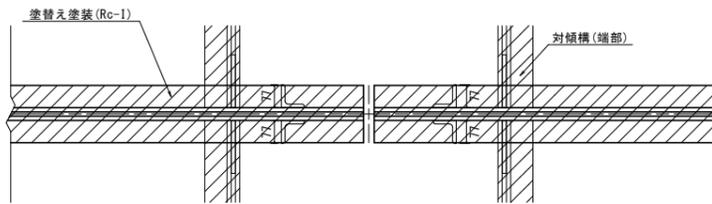


橋脚部

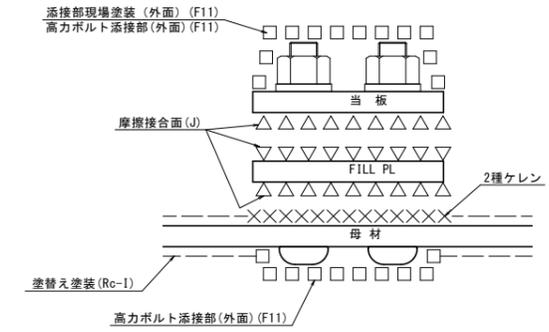
側面図



平面図



当て板部塗装詳細図



凡例

- Rc-1 : 塗替え塗装
- □ □ F11: 外面(添接部現場塗装、高力ボルト添接部)

橋梁塗装工 数量集計表

塗装箇所	塗装面積 (m ²)
主桁	1163.5
横桁	158.9
雨覆板取付金物	201.8
支承	11.6
控除分(当て板補修)	-1.0
合計	1534.9

※施工数量については現地再確認を行ったうえで監督職員の承諾を得て決定すること。

塗装仕様 Rc-I 塗装系 (スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン (循環式プラスト処理)			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	140	25	1日~10日

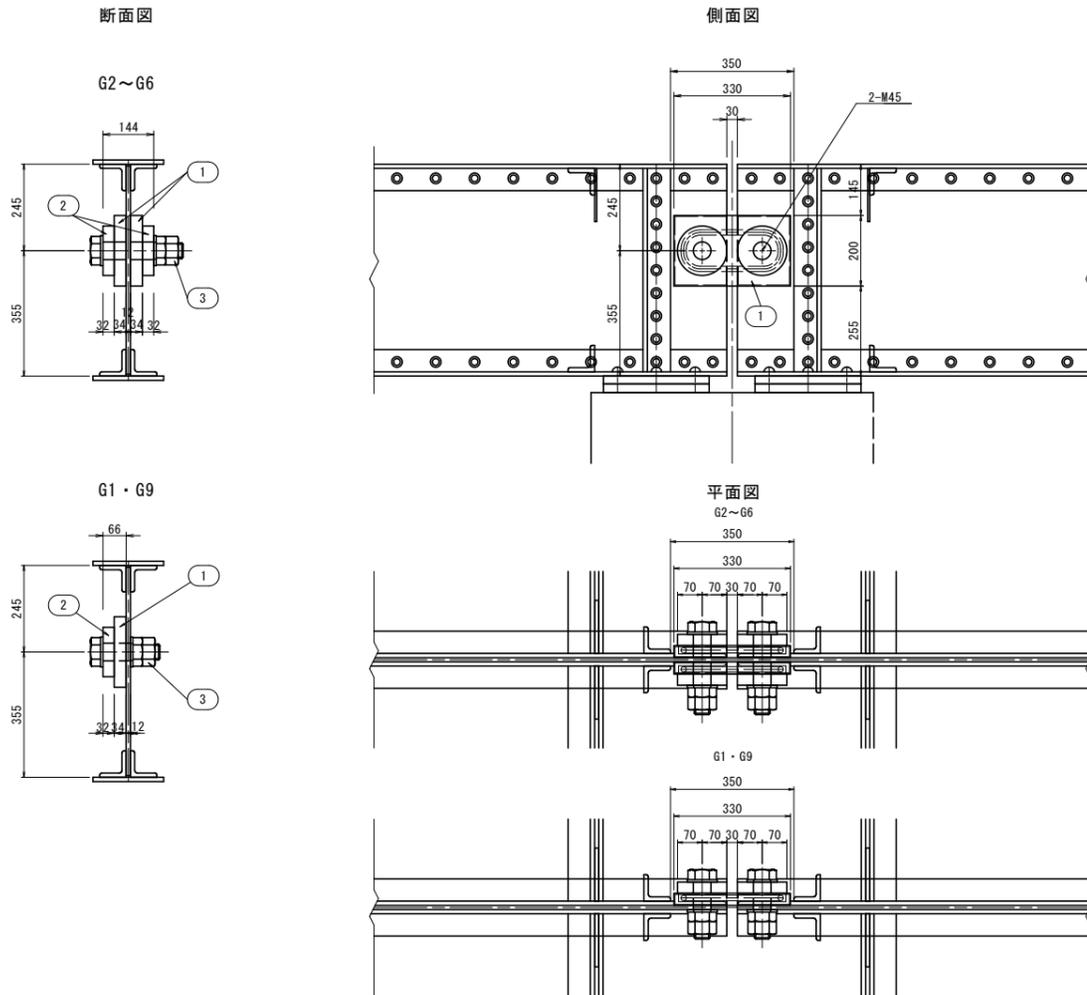
※素地調整は循環式プラスト工法同等品以上とする。

鋼道路橋防食便覧 P. II-118

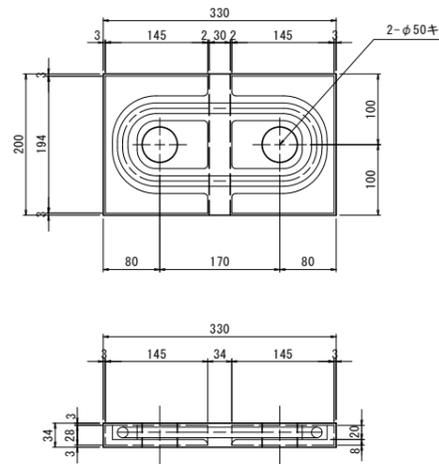
工事名	三栄大橋補修工事 (その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	橋梁塗装工図 (その2)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	S=1:20	図面番号	17 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

落橋防止装置工詳細図

取付図 S=1:10

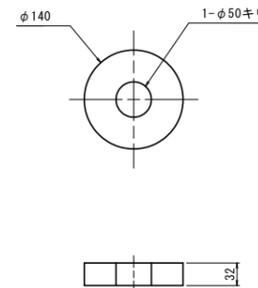


① 落橋防止装置 S=1:5
FRAC(改)同等品以上

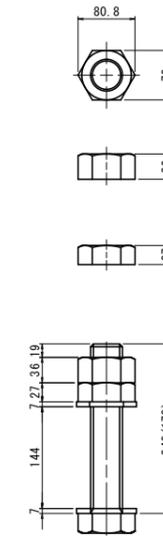


② 取付プレート S=1:5

G2~G6 : 4枚
G1~G9 : 2枚



③ 取付ボルト S=1:5



※()内寸法はG1・G9を示す。

材料表 (1組当り) G2~G6

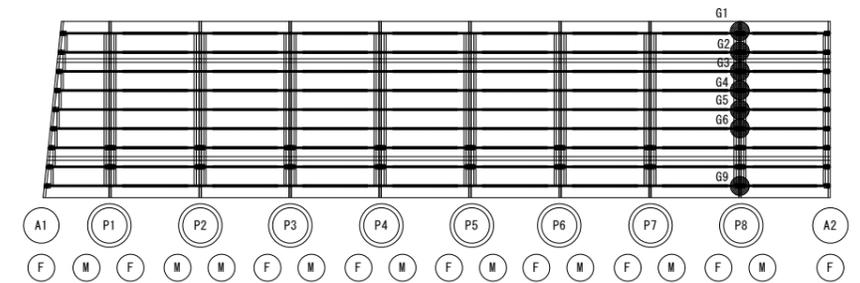
部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	FRAC(改)同等品以上	CR, SM490A, 繊維ロープ	2	42.0	
②	取付プレート	SM490A	4	11.6	
③	取付ボルト	M45 x 240、強度区分 8.8	2	7.9	

材料表 (1組当り) G1・G9

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	FRAC(改)同等品以上	CR, SM490A, 繊維ロープ	1	21.0	
②	取付プレート	SM490A	2	5.7	
③	取付ボルト	M45 x 170、強度区分 8.8	2	6.2	

※1 材料表の部番を○で囲んだ部品は溶融亜めっきとする。
鋼板 (HDZT77)、ボルト・ナット類 (HDZT49)
※2 金物類の形状は仮決めで、状況に応じ適宜変更すること。

配置図



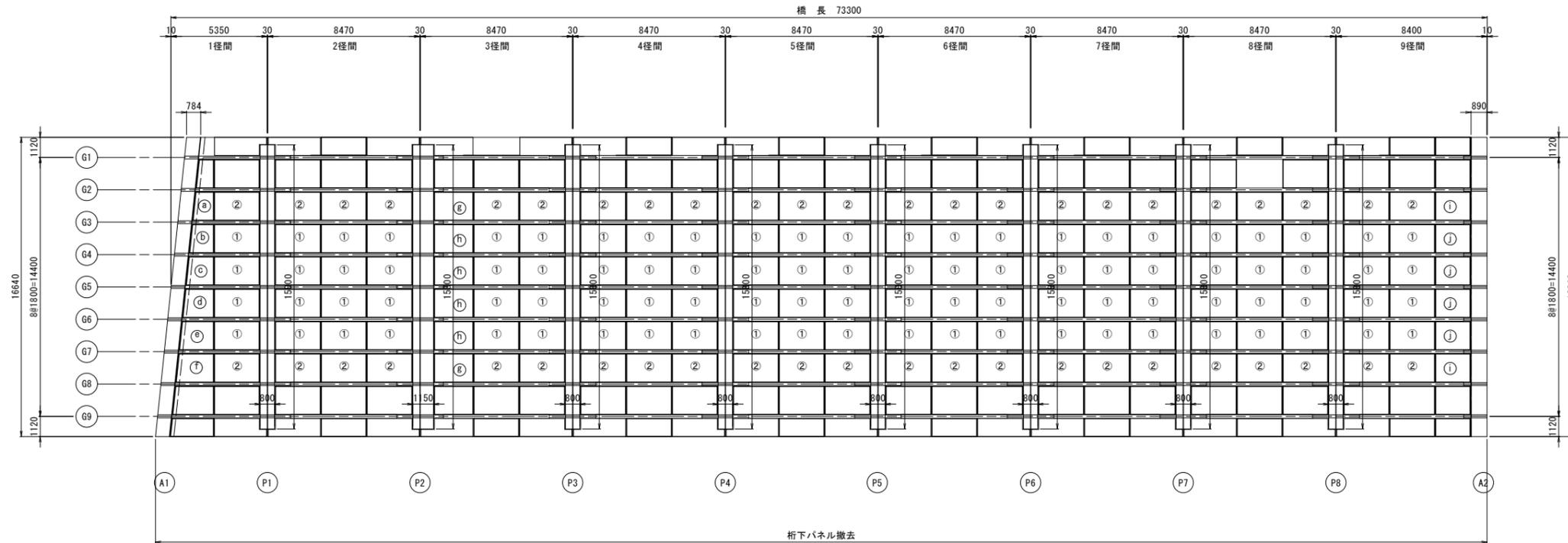
※G1はG2側にP9はG8側に1基設置する。

注記)
取付位置については現地調査を行い決定すること。

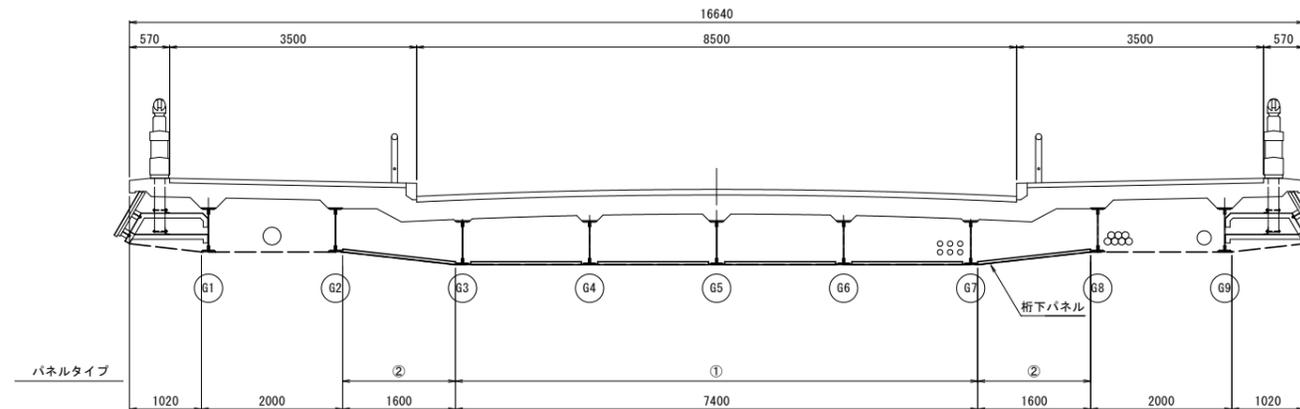
工事名	三栄大橋補修工事 (その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	落橋防止装置工詳細図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	18 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

桁下パネル撤去図

平面図 S=1:150



断面図 S=1:50



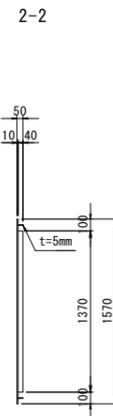
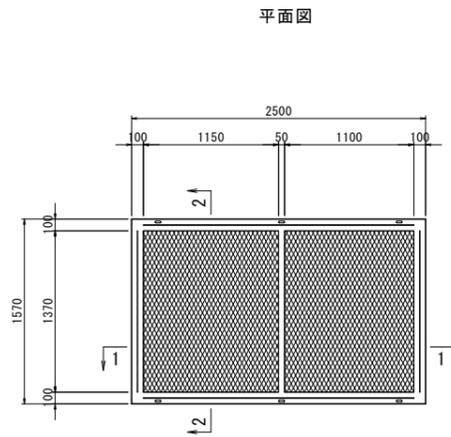
桁下パネル撤去数量表

種別	細別	施工面積 (m2)
防鳥ネット取付工	桁下パネル撤去	600.3

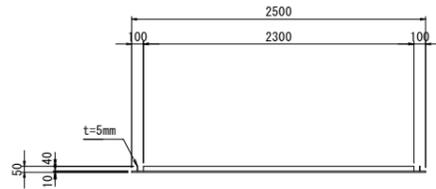
工事名	三桑大橋補修工事(その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	桁下パネル撤去図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	19 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

桁下パネル詳細図

〈タイプ①〉 S=1:30

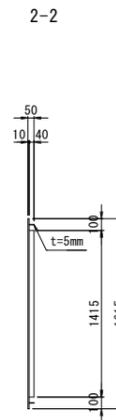
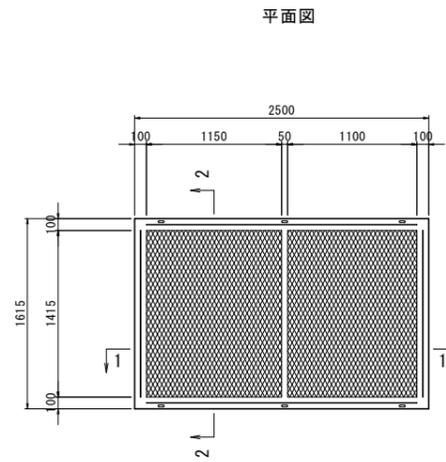


1-1

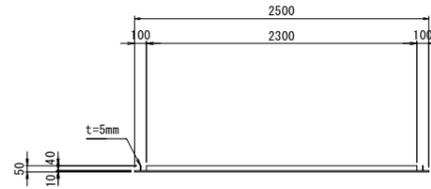


- 2-FB 100×10×2500
- 2-FB 100×10×1370
- 1-FB 50×10×1370
- 2-FB 40×5×2300
- 2-FB 40×5×1370
- エクスパンドメタル(XS-62)
- 1-1420×1200
- 1-1420×1150

〈タイプ②〉 S=1:30

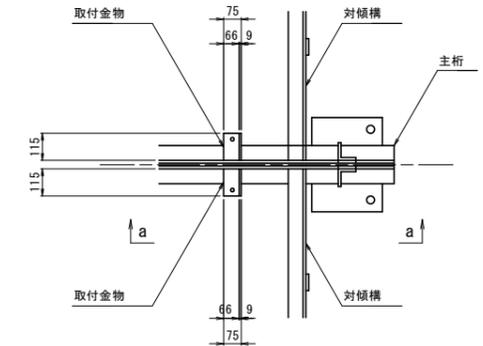


1-1

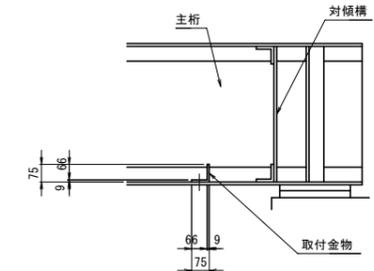


- 2-FB 100×10×2500
- 2-FB 100×10×1415
- 1-FB 50×10×1415
- 2-FB 40×5×2300
- 2-FB 40×5×1415
- エクスパンドメタル(XS-62)
- 1-1465×1200
- 1-1465×1150

取付部詳細図 S=1:15
平面図



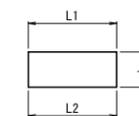
a-a



異形部寸法表

記号	L1	L2	h	枚
1径間				
(a)	982	1145	1615	1
(b)	1169	1333	1570	1
(c)	1357	1520	1570	1
(d)	1544	1708	1570	1
(e)	1732	1895	1570	1
(f)	1919	2083	1615	1
3径間				
(g)	2150	2150	1615	2
(h)	2150	2150	1570	4
9径間				
(j)	1925	1925	1570	4
(i)	1925	1925	1615	2

異形部寸法

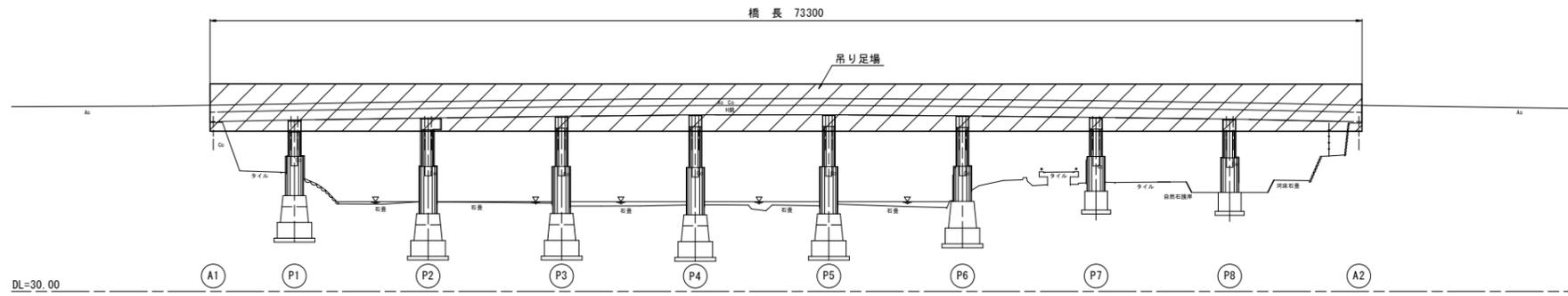


〈パネル1枚当り〉
6-L 75×75×9×115

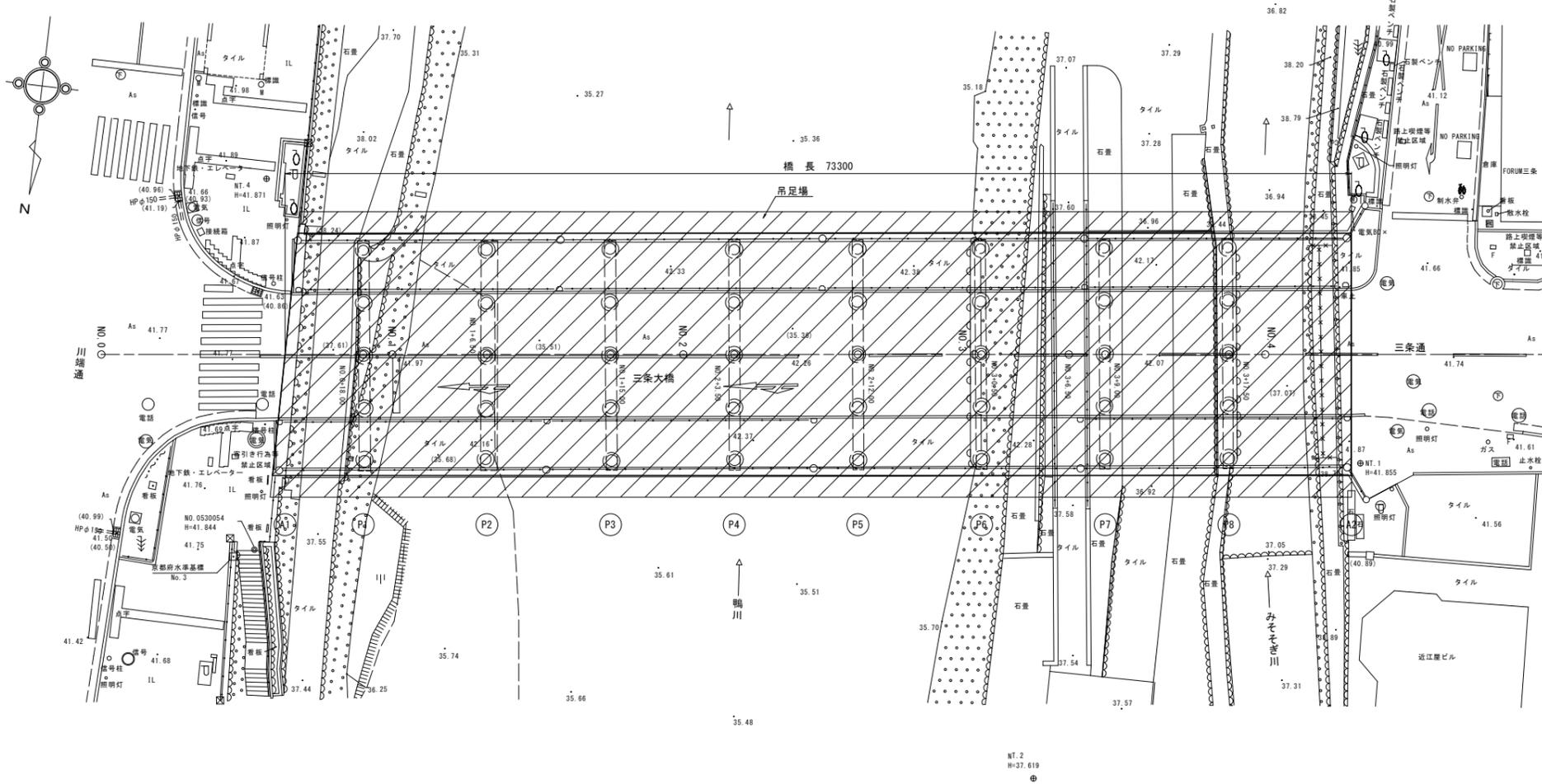
工事名	三栄大橋補修工事(その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	桁下パネル詳細図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	20 / 21
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

<参考図> 三条大橋 足場工図

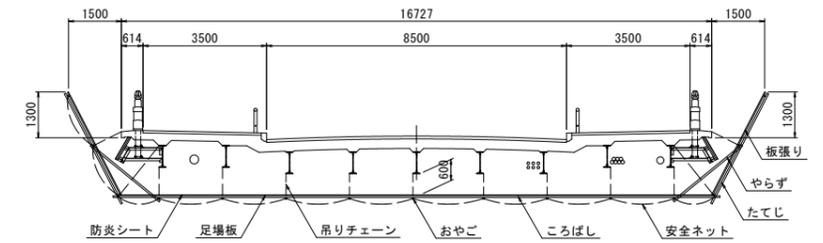
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



上部工断面図 S=1:200



足場工数量表

種別	細別	単位	数量	備考
足場工	吊り足場	m ²	1226.1	WxL=16.727x73.3=1226.1
	吊り足場供用期間	箇月	6.2	

注1) 木製桁隠しは取り外さずに吊り足場を設置すること。

注2) 木製桁隠しに影響が無いよう、吊り足場との離隔を十分に確保し、適宜養生を行うこと。

<参考図>

工事名	三条大橋補修工事 (その4)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	<参考図> 三条大橋 足場工図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	21 / 21
京都市建設局土木管理部横より健全推進課			